西村貞
譯述

小學教育新編

學校管理法

三

376.2
Ni19
資料室

20784
教科書文庫
2
370
51-1881
200030
2627
[M.14]

資料室
796.2
Ni19
廣島大學圖書之印
広島大学教図書
17877

目次

○第二部
學校管理法
第一編　學校維持法ヲ論ス○學校管理法ノ定義○學校維持方ノ定義
第一章　學校ハ快愉ノ場タルヘシ
第二章　學校ニ在リテ第一着ノ業
第一　最初ノ動作
第二　意匠
第三　將來ノ感勢
第四　變革ヲ慎ムヘシ

第三章　特別ノ職務

第一　監督○其目的第一勞働○第二整齊○第三保護

第二　教授○其要點第一授ク可キ學科○第二正法○第三親施セル教授

第三　試驗○其要三段アリ

第四　罰

第四章　身體ノ狀況

第二編　編制ヲ論ス○其利益及ヒ難易

第一章　編制ノ本性及ヒ理法

第二章　教授カノ本性

第一　教師其助手ヲ有セサル所ノ編制
第二　練熟シタル助教師ノ補助ヲ有スル編制
第三　授業生ヲ有スル編制
第四　生徒教員ヲ有スル編制
第五　助教師及ヒ生徒教員ヲ有スル混合編制

第三章　編級

第一　其切要及ヒ難易
第二　編級ノ基礎
第三　編級ハ單ニ理論ニ據リ難シ

第四　複樣編級○其一學科ヲ舉ケテ三類ニ分ツ者○其二學科ヲ舉ケテ二類ニ分ツ者
第五　單樣編級
第四章　時間表
第一　其利
第二　時間表ハ何ヲカ表示スヘキ
第三　時間表ヲ製スルノ法何如
第四　地方職業上ノ情況
第五章　學校學校器具及ヒ器械
第一　學校ノ敷地

第一　教師其助手ヲ有セサル所ノ編制
第二　練熟シタル助教師ノ補助ヲ有スル編制
第三　授業生ヲ有スル編制
第四　生徒教員ヲ有スル編制
第五　助教師及ヒ生徒教員ヲ有スル混合編制
第三章　編級
第一　其切要及ヒ難易
第二　編級ノ基礎
第三　編級ハ單ニ理論ニ據リ難シ

第四　複樣編級○其一學科ヲ舉ケテ三類ニ分ツ者○其二學科ヲ舉ケテ二類ニ分ツ者
第五　單樣編級
第四章　時間表
第一　其利
第二　時間表ハ何ヲカ表示スヘキ
第三　時間表ヲ製スルノ法何如
第四　地方職業上ノ情況
第五章　學校學校器具及ヒ器械
第一　學校ノ敷地

第二　學校ノ大小及ヒ形狀○完全具備ノ學校ハ何等ノ場所ヲ有ツヘキヤ○廊下及ヒ控所○教師住屋又ハ教師室○學校ノ採光通風及ヒ採溫○體操場○圃
第三　學校器具○椅子○卓子○講堂○器械函教員用卓子時計
第四　學校器械○小圖書室
第六章　主簿及ヒ其利
第三編　教化ヲ論ス
第一章　教師

第一　教化ノ源ハ教師ノ性質ニ存ス
第二　人ノ品質ノ教化ニ關係アル者
第二章　他ノ要況ノ教化ニ關係アル者
第一　至當ノ監督ハ教化ヲ上進スルモノトス
第二　善良ノ編制ハ教化ヲ上進スルモノトス
第三　兒童ニ負ハレムヘキノ情款ハ教化ヲ動カスモノトス
第四　多數ノ共感ハ教化ヲ上進スルコトヲ得ルニ足レリ

第五　法度ノ律令ハ教化ヲ上進スルコトヲ得ヘシ
第六　罰科
第七　競進及ヒ賞品
第八　感趣ヲ事業ニ抱クトキハ教化ヲ上進スルコトヲ得ヘシ

帝國圖書館藏

小學教育新篇第三卷

西邨　貞譯述
中根　淑校閲

第二部

學校管理法

第一編　學校維持法ヲ論ス○學校管理法ノ定義○學校維持法ノ定義

スクール・マヲ子ージメント譯シテ學校管理法ト云ノ語ハ其一般ノ義理ニテ、學校管理者ト名クル職員カ、諸教員ノ使雇及ヒ其勤勞并ヒニ校舍校具器械學資ノ徵收及ヒ支出等ノ上ニ運用セル司轄ヲ述フ、而シ

テ其稍狹キ義理ヲ徵スルニ、學校維持法、編制及ヒ教化等ノ名辭ニ含メル所ノ學校教師ノ事業ノ其部ニ應用スルノ語ナリ、

爰ニ謂フ所ノ學校維持法トハ、學校管理法ノ一支科ニシテ、教師カ藉リテ以テ其學校生徒ノ出席授業料教授及ヒ進歩等ニ係レル景況ニ精シク洞通シ、又斯ニ其兒童ノ健康快樂ヲ動カス所ノ情狀ニ注意シ、且是ニ據リテ學校ヲシテ快愉ノ場タラシメ、以テ學校事業ニ安康ナル活動ヲ收メ得ルコトヲ徵ス、

第一章　學校ハ快愉ノ場タルヘシ

學校ノ諸目的ヲ成就スルニ方リテ、其兒童ヲシテ、學校ヲ以テ快樂ノ地ト認ムルノ情操ヲ發起セシメ、且實際其果シテ然ルコトヲ眞ニ領解セシメンコトノ甚緊要ナルヲ熟知スヘキコト教師ニ在リテ最切ナリトス、兒童若一タヒ學校ノ樂シキコトヲ口ニ唱ヘ心ニ了スルニ至ラハ、滿校ノ事物皆其心ヲ奪フニ足リテ、快愉ノ感觸之ニ伴ハン然リ而シテ教師者此場上ニ座シテ、其事業ヲ成スニ於イテハ、易々快タトシテ好成蹟ヲ産マンコト固ヨリ疑ヲ容レス、抑教師タル者、斯ノ如キ情況ニ學校ヲ保全スヘキノ理由アリ、今其一ヲ舉ケンニ、凡幼時ハ幸福ノ期タルコト他ニ絶エタリ、而シテ此期ニ際シテ、之カ幸福ヲ增進スル

ハ、萬有ニ協カレテ、以テ其美ヲ翼賛スルノ譽アリ、又其二ヲ舉ケン二、兒童ノ注意ヲ喚起統率シ、其勤學ヲ保持シ、其心智ヲ教養スルニ於イテハ、之ヲ以テ最恰好ノ情況ノ一トス、故ニ教師タル者廣ク其快活ノ心地ヲ散布スルカ爲ニ、快氣ノ日光ヲ現シ、毫モ雲霧ヲシテ之ヲ壓覆セシメサルトキハ、良ク兒童ヲ勸奬シテ、好意業ニ就カシムルニ於イテ有力ナリト謂フヘシ、之ニ反シテ、滿校ニ幽鬱不快ノ空氣ヲ充タシムルキハ、兒童ノ勞働ヲ遮絶スルノ妨害タリ、第三ノ理由ヲ述ヘン二、學校ニ於イテ快活幸福ノ精神ヲ增進スルハ、則德性ノ涵養ニ緊要ナレハナリ、

第二章　學校ニ在リテ第一着ノ業

第一　最初ノ動作

教師タル者、一學校ヲ負擔シテ、之カ職務ニ任スルニ方リテヤ、其最初ノ動作ニ深ク注意セサル可カラス、少壯ノ教師ニ在リテハ、殊ニ然リトス、一ニハ思慮ヲ加ヘサルニ由リ、二ニハ高慢ナル概念ヲ有スルニ因リ、往々損害ヲ釀生シテ、恢復ス可カラサルニ至レルコト屢ナリ、方今師範學科ヲ卒リテ年々地方ニ派出スルモノ、大抵皆毫モ學校維持法ヲ知ラサルニ因リ、動スレハ其赴任セル學校ニ損害ヲ蒙ラスコトアリト云フハ、一般ノ愁嘆ナルカ如シ、然レ𪜈是未以テ其

實理ヲ詳悉スル者ト爲スコト能ハス、抑善良ナル學校維持法ニ必要ナル所ノ者ハ、多ク經驗ニ基キテ來レリトス、蓋技藝ハ實行ヲ積ミテ然ル後始メテ完全ナルコトヲ致ス、而シテ學校維持法モ亦一ノ技藝ナレハ、豈普通ノ則ニ外ナラン哉然リ而シテ技藝ニ規則アリ理法アレハ、之カ學識ヲ有シテ之ヲ順奉スルハ、則精巧ヲ得了スルノ捷徑ト謂フヘキナリ、

第二　意匠

學校ノ職務ニ着手スルノ一週前ニ、教師ハ、宜シク其助手兼子テ之ヲ有スル場合ニ於イテハ)ヲ索メテ學校ノ趣向及ヒ一般ノ運轉ヲ自學ヒ、又其優秀ノ者ヲ撰ミテ、專授業上ノ事ヲ托シ、自身ハ之ヲ親セスシテ、專監督ノ業ヲ負擔スルノ自由ヲ得若クハ監督ヲ旨トシテ傍授業ノ心意啓發ニ涉レル最難最要ノ者ヲ操ル等ノ意匠ヲ定ムヘシ、若又學校ニシテ助手ナキ時ハ、生徒中嘗テ助役ヲ爲セシ者若クハ在校ノ年月最永キ者等ヲ搜索シテ、其家ヲ訪フモ可ナリ、必竟首トシテ此輩ノ感趣ヲ收得シ、之カ協同一致ノ働ヲ促シテ、以テ自己ノ意匠及ヒ目的等ノ行ハレンコトヲ冀圖スルヲ第一着ト爲スヘシ、是蓋學校ヲ感化スルノ功效アレハナリ、

第三　將來ノ感勢

始メテ兒童ト相對スルノ日卽學校ノ初日ハ教師ノ將來ノ感勢如何ヲ眞ニ宣告スルモノトス蓋兒童ハ、新任教師ノ性質ヲ熟知セント熱望シ、屢銳利ナル眼光ヲ射テ、其如何ヲ瞥見スルコトアリ、又其忍耐如何ヲ驗シ、何ノ點マテハ、教師其罪ヲ問ハサルヤヲ撿スルコトアリ、又其動靜如何ヲ試ムルコトアリ、此時ニ當リテヤ、教師ハ其過失發見ノ事件ニ於イテ、最愼謹注意セサルヘカラス、如何トナレハ、新教師ノ述意解釋スル所ノ者ハ、生徒ノ嘗テ慣習スル所ノ者ト、往々甚相異ナルカ爲ニ、誤謬ノ領解ヲ生スルノ恐アレハナリ、總ヘテ兒童ニ指揮スル所ノモノハ、精亮ニ演述

シテ、公明ナランコトヲ務ムヘシ、而シテ細些ノ過失粗暴等ノ如キハ、始終之ヲ觀察記銘シ、放校時間ノ來ルニ及ヒテ、簡單爽快ノ言語風調ヲ假リテ之ヲ公言シ、其如何カセハ可ナリシヲ教示スヘキナリ、

第四　變革ヲ愼ムヘシ

最初ノ數日若クハ其一週ハ、教師實ニ其學校ノ如何カ運轉スルヲ視察シ、諸級ノ情況及ヒ性質等ヲ悉明シ、其心裏ニ起ル所ノ事項ヲ筆記スル等、凡將來自己ヲ嚮導スルニ足ルヘキ材料ヲ積堆スルニ費消スヘキモノトス、然スル時ハ、自其存在ノ舊法ヲ保守スルノ卻ツテ新法ヲ容ルヽニ勝レルコトアルヲ發見シ、

若クハ舊法ノ其土地及ヒ事情ニ適應スルコト其自容ルヽヲ得ヘキ者ニ勝レルコトアルヲ見出スコトアルヘシ若又新法ヲ容レサル可カラサルノ場合ニ於イテハ實ニ丁寧愼謹ヲ旨トスヘキナリ、抑教師ニシテ徒ニ舊ヲ廢シテ新ヲ試ムル者ノ如キハ、其學校ノ衰頽荒蕪ヲ來スコト往々是アリ、故ニ賢者ハ徒ニ新法ヲ立テサルナリ、夫父母ニ偏見アリ、兒童ニ習慣アリ、而シテ助手ニ舊ヲ慕フノ感觸ナシトセサルカ故ニ苟新法ヲ容レント欲セハ、徐々鄭重ニ之ヲ施行スルニ非サレヨリハ、其必ス雜ヲ生シ錯亂ヲ釀シ、時間ヲ浪費シ、進歩ヲ遮絶シ、教化ヲ紊亂スルニ至ラサルコト殆ト稀ナリ、然シテ此等事項ノ評報、一タヒ校外ニ發シテ、四方ニ散スル時ハ、兒童比々トシテ退校ヲ爲シ學校終ニ一荒野トナリテ、又耕養スルニ由ナキニ至ルヘシ、

第三章　特別ノ職務

第一　監督○其目的第一勞働○第二整齊○第三保護

吾人苟學校ヲ組織セル元素ノ何タルヲ考察セハ、監督ノ闕ヶ可カラサルコトヲ諗了スルニ於イテ、蓋又易々ノミ、抑學校ニ在リテ、兒童ヲ訓練スルニ、其他人ニ依ラスシテ、而シテ自己ニ賴リ、其正直ノ動作ヲ遂

クル所以ノ情款ハ、則只其正直ノ基ク所以ナルニ因
緣スルカ如キ程度ニ達セレメンコト、固ヨリ冀望ス
ル所ニシテ、又其不信ヲ置キ、疑惑ヲ抱クコトハ、固ヨ
リ不良ナリト雖、如何セン實際ニ於イテハ、往々輕忽
無智ノ事多ク、又時トシテハ、之ヨリ甚シキ惡德ノ存
ルアルヲ免レス、是其勤勉ナル監督ノ要アル所以ナ
リ、故ニ教師ハ、日々其幾分ヲ監督ノ業ニ歸スヘシ、若
又他ニ業ノ離ル可カラサル者アルニ會セハ、其所屬
一二ノ教員ニ委托スルモ可ナリ、蓋監督ノ業カ良ム
ヘキ目的ヲ舉クレハ左ノ如シ、

勞働ノ精神ナル者ハ、學校ノ各部ニ浸漸セラレサル

可カラス、抑教師ノ現在模範及ヒ精神ハ、各級ニ貫徹
セサル可カラス、殊ニ怯弱ノ者ヲシテ之ヲ感セシメ
ンコト必要ナリ、而シテ懶惰ニ導クヘキ誘況ヲ擧ケ
テ、必之ヲ防禦センコト、又宜シク務ムヘキノ事タリ、
各級ニ整齊アリテ、進退座作ニ循律アルハ、又監督ノ
目的ノ一ナリ、苟諸級ニシテ整頓ヲ失ヒ、粗暴ノ座作
行ハレ、時ヲ守ル者ナク、進退冗雜ニ任ス時ハ、其惡シ
キ感勢タル、冥々裏ニ其威ヲ縱ニシ、其弊ノ歸着スル
所、終ニ兒童ノ性質及ヒ常習上ニ有害ノ效驗ヲ來ス
ノ外、又他ニ得ヘキ者ナキナリ、

事ヲ處スルノ公平ナルト、不良ノ感勢ニ於イテ保護

スルトハ、兩ツナカラ收メ得ンコトヲ務ムヘシ、夫苟有効ナル司轄ノ斯ニ現存スルニ非サル時ハ、兒童等助手ノ手ニ在リテ、各種ノ處置ニ遭ヒ、其幣マ兒童ノ性質ヲ害シ、教師ノ威重ヲ毀ツニ至ルヘシ、故ニ教師ハ、兒童ヲ保護スルヲ以テ其義務ト爲スヘシ、而シテ尚此外ニ教師ニ要ムルニ道德上ノ保護ヲ以テセサル可カラス、是則障壁等ニ落書セル事物ヲ丁寧ニ掃除シ、且其犯罪ヲ復ヒセサラシメンコトノ手段ヲ設クル等ニ依リテ、不良ノ言辭等ニ親接セサラシメ、又能ク狼莠ヲ分別シ、若クハ有害ノ兒童ヲ全ク驅逐スル等ノ事ヲ謂フナリ、尚此上ニ身體保護ナル者アリテ教師ニ促スニ其要ヲ以テセリ、則健康ヲ保護センカ爲ニ、兒童ノ位置及ヒ緊要ナル體操并ヒニ通風ニ留意スヘキ等ノ事ヲ云フト雖其詳ナルコトハ、身體教育ノ編ニ就キテ參照考察スヘキナリ、

第二　教授○其要點第一授ク可キ學科

○第二正法○第三親施セル教授

教授ノ功效アルト否サルトハ、教師ノ責任ニ在レハ、宜シク左ノ諸點ニ注意スヘシ、

教師ハ其教授ノ材料ヲ撰ミテ、諸階級ハ需要ニ適應セシムヘシ、而シテ其學科ヲ授クルニハ、心意啓發ノ期ニ從ヒテ、正當ノ秩序ニ基因シ、且脩身讀書習字及

ヒ算術ノ如キ緊切ノ學科ニハ、最多ノ時間ヲ歸與センコトニ注意セサル可カラサルナリ、

教師ハ又各學科ヲ授クルニ方リテ其果シテ正法ニ適フヤ否ヤヲ檢察スベシ、是蓋教師ニ在リテ、大ニ思慮ヲ勞スヘキノ要點ナリトス、抑目下小學校ノ有樣タル、尋常所屬教員ヲ有スルモノニシテ、其所屬教員タル、必定授業ノ方法ニ暗キノ恐アルコトヲ免レサレハ、其如何カ業ヲ授ケ、且如何ナル材料ヲカ撰ムヘキコトヲ定ムルカ如キハ、教師ノ職務タルヘキナリ、然リ而シテ此業事ヲ遂ケンニハ、或ハ親シク其龜鑑タルヘキ教授ヲ施示シ、或ハ特ニ授業ノ方法ヲ傳授

シ、又或ハ其所屬教員カ實施セル方法ヲ深ク視察シテ、之ヲ評訂スル等ノ事ニ藉リテ、畧其目途ヲ達スルコトヲ得ヘキナリ、

教師親施セル教授ハ本性及ヒ多寡ハ、學校ノ功績ヲ奏スルニ於イテ、一大緊要ノ事項タリ、教師ニシテ、唯學校機關ノ指揮者タリ警察吏タルノ地ニ安ンスルカ如キハ、業ニ已ニ舊事ニ屬シ、而シテ今ハ乃其教授者タリ教育者タルノ眞位ヲ占ムルコトヽハナレリ、

人若此事ノ道理ニ適フヤ否ヤヲ證明センカ爲ニ、諸考按ヲ要セントナラハ、智性及ヒ德性ノ訓練ニ於イテ、兒童ハ之ヲ殊勝ノ精巧ヲ有スル教師ナル者ニ請

求スルノ權アリ、而シテ所屬教員ハ、其龜鑑タルヘキ教授ヲ目擊センコトヲ齊シク教師ニ請求スルノ權アルコトヲ察セハ則足ラン、第一抑教師ノ授クル所ノ者ハ、一邊ノ題目若クハ一樣ノ授業ニ限ルヘキニ非ス、又其授業タル、最器械樣ニ屬スル者ト雖、必其所屬教員ヲシテ龜鑑ノ潤益ヲ得セシメ、全級ヲシテ教師ノ精神ニ浸染セシメンコトヲ務ムヘシ、第二親施セル教授ノ日々ノ多寡ハ、首トシテ其學校ノ大小ニ關シテ之ヲ考察シ、且其配當シ得ヘキ教授力ノ性質ヲ鑑視シテ、然ル後ニ之ヲ決定スヘシ、然レトモ教師ハ、少クトモ日々一回親シク各兒ニ觸接スルノ權利ヲ

要求シ、且其職務ヲ身上ニ負擔スヘキモノトス、第三教師ノ勤勞配分ニ於イテハ、各級固ヨリ其一分ヲ請求スルノ權ヲ有スレトモ、中等及ヒ下等ノ諸級ニ在リテハ、一層多分ノ配當ヲ受ケンコトヲ要ス、蓋午前ヲ以テ其親施セル教授ノ時間ニ充テ、午後ヲ以テ專監督ノ時季ト爲スヲ宜シトスヘシ、

第三　試驗○其要三段アリ

學校維持法ノ功ヲ奏センニハ、學校内部ノ進歩ニ關シテ之ヲ觀ルモ、又ハ校外ニ於イテ學校ヲ目スル所ノ意見ニ由ルモ定例試驗ノ施行ヲ以テ最緊要事件ノ一トス、抑月次及ヒ定期試驗ノ事タル、其要三段アリ、

リ、曰ハク優等ヲ進ムルナリ、曰ハク、進歩ヲ登録スルナリ、曰ハク授業法及ヒ其成蹟ヲ評論スルナリ、(甲)其第一ハ學校事業ヲ調和ニ履行シ且各級ノ教授ニ功效秩序アラシメンコトニ必須ナリトス、抑定期ノ教科ニ嗣クニ、必其畢ニ試驗ヲ施スコトヲ以テセハ、健穩ナル競進ノ精神ヲ發起シ且之ヲ維持スルコトヲ得、而シテ又優等ノ者ヲ進メテ、之ヲ他級ニ輸送セハ、級中學力ノ點ニ於イテモ、稍其平等ヲ保ツコトヲ得ルニ至ラン、(乙)毎月及ヒ毎期ニ、各兒カ諸學科ニ於ケルノ位地ヲ登録シ、且其重ニ缺ケセル箇處ヲ表明セハ、其學校并ヒニ兒童ニ關シテ、教師ニ其教授ノ缺點ヲ發覺セシムルニ至ルコト屢ナリ、是ヲ以テ各學校トモ統計表簿ヲ備ヘンコト肝要ナリ、而シテ此物タル學務吏員及ヒ巡視官等カ、依リテ以テ其學校ニテ成リタル事業ノ目算ヲ抱クコトヲ得ヘキ貴重ノ參考ナリトス、又此表簿ハ、教師ヲシテ、至當ノ試證法ヲ施用シテ、以テ兒童ノ進歩ノ果シテ克ク其年齡ニ應シ、其學校ニ就學セル年月ノ長短ニ適ヒ、且其教師カ施與セル劬勞ニ合フヤ否ヤヲ檢定スルコトヲ得セシメ、兼テ教師ヲシテ、一月若クハ一期間ノ報告ヲ兒童ノ父母ニ贈附スルコトヲ得セシメ、爲ニ益其學校及ヒ彼ノ輩ノ兒童ノ進歩ニ抱ケル感趣ヲ盛ンニ

レ、愈信憑ヲ其教師ニ置クニ至ラン、丙授業法ノ定例ノ審評、并ヒニ其成跡ノ記錄タル、苟教育上其緊要ナルコトヲ悉了レタルノ人ニ向ヒテハ指命ノ効アルヘキナリ、夫教育ハ歸納的學科ノ一ナリ、其理說タル、必事實ニ基因レテ、以テ之ヲ試證セサル可カラス、其理法及ヒ授業法タル、必此等事實ノ攬括タラサル可カラス、世ノ教師ニシテ、他人カ既ニ發見シタル所ノ者ヲ墨守レ、單ニ之ヲ應用スルヲ以テ自足レリトシ、決シテ其既ニ踏ミタル蹤跡外ニ出テサル者、往々ニシテ是アリ、夫ノ犬步ト云フハ是ノ謂ニシテ、其步度ヲ改繕スルコトナク、又其慣レタル進路ヲ變シテ外ニ出ツルコトモ無キモノナリ、又他ノ教師ノ、智性及ヒ德性ノ成育ヲ遂ケンコトハ、各兒ノ事情ト其外圍ノ事物ト、并ヒニ其觸接スル所ノ感動トノ如何ニ緣リテ多ク左右セラルヽコトヲ認了シテ、恒ニ其事實ヲ視察シ、從ヒテ其實行ヲ鞏革變更スル者アリ、斯ノ如キ教師ニ在リテハ、偏頗ナキ審評ノ光明裏ニ事實ヲ登錄センカ爲ニ、豫メ試驗ノ時日ヲ指命シテ、之ニ拘泥スルカ如キ稍低劣ナル情歟ヲ要用トセサルナリ、必竟其慮ヲ練リ其日ヲ累チテ檢査スルノ後ニ、各異ノ授業法カ、各種ノ手ニ在リテ、各異ノ心上ニ如何カ其功效ヲ顯セシコトヲ試ミ、又其各種ノ授業法ノ、

各異ノ學科ト、各異ノ年齡トニ於ケルノ應用如何ヲ驗ムルノ機會ハ、此教師ニ在リテ富メリト謂フヘシ、尚此外ニ教師ニ要スル所ノ者一アリ、抑教授ノ多分ハ、必定舉ケテ之ヲ未熟淺驗ノ教員ニ委任セサルコトヲ得ス、而シテ其未熟淺驗ノ教員ナル者ハ、殊勝ノ精巧アルヘキコトヲ其教師ニ要ムルノ權ヲ有シ、且彼ノ輩ノ事業ハ、教師ノ監査ヲ受クルノ事アルヲ以テ、宜シク奮發振起スヘキモノナルカ故ニ、之カ授業法及ヒ成跡ヲ審評シテ、參考用ノ帳簿ニ記入センコトハ、教師タル者ニ冀望スル所ナリ、

第四　罰

親シク譴戒責罰ノ施行ヲ管掌スルハ、決シテ所屬教員ニ信任スヘキモノニ非ス、如何トナレハ、父母ノ位地ニ代リテ立ツ者ハ、唯教師アルノミニシテ、則此事タル、其信憑ノ違約ニ屬スレハナリ、然リ而シテ苟甘ンシテ此事ヲ許可スルカ如キコトアレハ、其必學校ニ抵抗スルノ感觸ヲ盛ンニ生センコト疑ナキカ故ニ、是唯愚ナルノミナラス、其餘勢タル、終ニ教師ノ威重ヲ虧損スルニ至ランコト必セリ、抑罰ヲ課スルニ方リテヤ、其激怒ニ於イテセンヨリハ、寧其悲哀ニ於イテシ、且辯決ヲ審ニシ、懇誠ヲ深クスルコトヲ以テ、其表標ト爲サヽル可カラス、而シテ罰ヲ施スコト、決

シテ犯罪ノ即時ニ於イテスルコト勿カレ、又兒童カ之ヲ待タサルノ時、若クハ發怒シタルノ時ニ於イテスルコト勿カレ、殊ニ又嚴罰ノ施用ヲ要スルニ臨ミテハ、決シテ之ヲ他ノ兒童ノ眼前ニ於イテ行フコト勿カレ、如何トナレハ、師弟年相同シカラサルト、兒童ニ黨與ノ勢力アルトニ因リテ、他生ヲシテ犯罪者ヲ憐ムノ共感ヲ發起セシメサルコト殆ト稀ナレハナリ、

第四章　身體ノ狀況

身體ノ狀況ト、其强壯ヲ增進スルニ足ルヘキ所以ノ手段トニ注意スヘキコトハ教師ニ要メサル可カラ

ス、如何トナレハ、此等ノ事タル、心上ノ進歩ト甚親密ニ相繫連スレハナリ、假リニ不快疲勞苦痛及ヒ疾病ヲ生スルニ足ルヘキ狀況ヲシテ茲ニ存現セシムルトセハ、兒童ノ注意ハ、其事業ヨリ離脫シテ他ニ徒ランコト必セリ、蓋此等ノ事ハ、其兒童ニ指命スルコト太甚切ナルヲ以テ、教師者何等ノ情緒ヲ假用スルトモ、決シテ其勢威ニ勝ツコト能ハサルナリ、故ニ學校事業ハ、兒童ノ身ニ傍ハスシテ、恰障壁ノ吸收スル所トナルカ如シ、之ヲ如何ソ注意ノ凝集ヲ望ミ、進歩ノ急速ヲ期スルコトヲ得ン哉、又此等ノ事タル、忿恚憤激好爭等ヲ生シ易キヲ以テ、兒童ノ性質上ニ有害ノ

働ヲ成スナリ、是ニ反シテ、健康振氣及ヒ善良ナル神經ノ景情タルヤ、智性ノ勞働ヲ鼓舞シ、德性ノ感覺ヲ激發シ、氣力ノ振起ヲ表現シ、目的ヲ鞏固ニシ、自信ヲ强盛ニスル等ノ恰好ナル情狀ト謂フヘキナリ、

身體ノ健康ヲ保全シ、其强壯ヲ增進スルニ足ルヘキ所以ノ手段ヲ講センニハ、第一學校事業即(甲)心腦ノ要況及ヒ其智德體三性ノ情狀ニ相關繫スル所以ノ要理、(乙)課業及ヒ學日ノ長短及ヒ之ヲ裁定スヘキ情況、(丙)運動ノ利益及ヒ之ヲ收得スヘキ情況、(丁)生徒ノ容況及ヒ習慣ニ注意スル事、第二教室即(甲)純清ノ空氣ヲ通スルノ必須及ヒ其便方、(乙)採溫ノ事、(丙)採光ノ

事等ヲ詳論討究セサル可カラスト雖、吾カ輩前ニ既ニ身體教育ノ編ニ於イテ、數章ヲ連子テ以テ其要理、要法ヲ解說シタレハ、復ヒ爰ニ論及セス、然レ共右ニ舉クル所ノ諸般ノ情狀タル、其功用及ヒ關繫ノ教育ノ眞面目ニ於ケル、弘且大ナルヲ以テ、世ノ教師タル者宜シク彼ノ編及ヒ彼ノ種ノ書ニ就キテ、以テ健全保護强壯暢發ノ要旨ヲ領シ、心身ノ關係及ヒ其教育ノ要理ヲ解スヘキナリ、

第二編　編制ヲ論ス○其利益及ヒ難易

學校ノ進歩ヲ促シ、又其功效ヲ現スニ方リテ、之カ影響ヲ有スルノ大ナルコト、善良ナル編制ニ於ケルカ如ク夫然ル者ハ、器械樣種類ノ事業中、蓋又甚鮮シトス、抑編制ノモノタル、奏功上緊切ナルヨリシテ之ヲ觀レハ彼ノ教授ノ勢力、苦クハ管治ノ識量ト相較シテ、決シテ甲乙ノ差ナシト云フモ可ナリ、必竟苟之ヲ闕ク時ハ管治ノ識量ハ敗衂ヲ取リ、教授ノ勢力ハ得テ之ヲ顯示スル能ハス、夫小學校ノ目的タル、重疊百端ニシテ、之ヲ求ムルニ足ルヘキ情況タル、奇異特別ナルコト、唯恰精巧ナル整頓ト配合トヲ得ルニ非サ

ルヨリハ、決シテ其正鵠ニ達スルコト能ハサルカ如ク夫然ルモノトス、凡何レノ學校ヲ問ハス、脩身讀書習字算術及ヒ其他ノ學科ハ、生徒ヲ舉ケテ皆之ニ授クヘキモノナリ、尚其他ニ緊要之ニ讓ラサル者アリ、則守時注意勉强及ヒ熱心ノ勞働ハ、之ヲ善養シ、社會ノ結交ヲ循律スヘキ所ノ主義ハ、之ヲ培養シ、視察尋問及ヒ思想ノ勢力ハ、之ヲ啓發シ、純良清澄ナル淑德ノ眞理ハ、之ヲ諸生徒ノ心肝ニ記銘スヘキ等是ナリ、然レ𪜈小學校ニ於イテ、此等事業ヲ成就スルニ難シトスル所以ノ者ハ、許多ノ兒童其年齡學力ヲ異ニスレ者相集ルアリテ、之ニ供フルニ分別適應ノ教則ヲ以テシ、相駢ヘテ而シテ之ヲ履行シ、且各兒ノ爲ニ、其進歩ヲ驗ミ、其闕乏ヲ補フノ手段無カル可カラス、加旃教師ハ、特此諸事ノ責ニ任シ、兒童ヲ舉ケテ之ヲ驗ミ之ヲ教フヘキ者ナリト雖、如何セン一時ニ只一點ニ關スルノ外、何時ニテモ一齊且直接ニ動作スルコトハ、能クシ得サル所タルニ職由スルナリ、而シテ尚其難事ヲ增ス者アリ、凡教師ハ諸兒童ヲシテ盡ク皆恒ニ其就キテ爲スヘキノ業事アラシメサル可カラサルコトハ、其任ノ避クル能ハサル所タリ、然ラサレハ徒手ノ兒童ハ、其不靜ノ氣力ニ任セテ、他生ヲ障害妨礙スルノ爲ニ出テンコト必セリ、然リ而シテ其難

事タル、尚未斯ニ止ラサル者アリ、蓋學校生活ノ期ニ定限アリ、而シテ此定期タル、吾カ輩ノ冀望スル所ノ者ヲ成就スルニ殆ト足ラサルカ如シト雖然レモ其生活期ヲシテ、能ク達得スヘキタケ、至高ノ成跡ヲ貢セシメンコトハ教師タル者ノ務メサル可カラサル所タ、ハナリ、

第一章　編制ノ本性及ヒ理法

學校編制ハ、陸續トシタル着業有効ナル教授并ヒニ德性上ノ司轉ヲ擁護センカ爲ニ企圖セル諸整頓ノ幹本ナリ、尚之ヲ釋述セハ、學校編制ハ、最有効ナル方式ト、時間及ヒ勤勞ノ最節約ナル支出トニ藉リテ、最多數ヲ教授シ、又教育スルノ手段ヲ備ヘンコトニ着眼スル者トス、故ニ各兒ヲ其適當ノ級ニ配置シ、各級ニ附與スルニ適當ノ事業ヲ以テシ、即種類及ヒ多寡ノ如ナカラ適當ナルヲ云フ、各科ヲシテ正當ニ之ニ歸與スヘキ時間ヲ收得セシメ、場所ト種類トニ相關シテ其事業ヲ整頓シ、以テ教室ノ靜謐ヲ保タシメ、當然ノ教員ヲ當然ノ場所ニ配置シ、以テ其級ヲ教授シ監督シ、又ハ司轄スル、最便ナル景情ニ在ラシメ、且教師ノ臨巡及ヒ事業ヲ適當ニ配分シ、學校ノ一部ト雖其趣益ニ損耗ヲ受ケサラシムル等皆編制ノ司掌内ニ在リトス、此ニ由リテ之ヲ觀レハ、總ヘテ此事タ

ル、各兒カ其學校驅競ノ間ニ需要スヘキ所ノ全進路卽全科ニ關シテ、充分ナル領解ヲ抱キ、且諸般ノ整頓及ヒ運轉ヲ舉ケテ之ヲ配合シ、一事ノ濫費ノク、冗雜ナク又一科ノ他科ヲ妨害スルコトナカラシムルノ識見ヲ抱負センコトヲ徵スルナリ、

總ヘテ學校ノ諸整頓ヲ循律センニハ、左ノ一般ノ理法ニ基因スヘキモノトス、第一各事皆生徒ノ趣益ニ關シテ考按セサル可カラス、而シテ其趣益ヲ以テ外狥ノ犧牲ニ供シ若クハ教師ノ便易ノ餌ト爲スカ如キコトハ、決シテアル可カラス、第二各兒ヲ處スルニ、之ヲシテ最大利潤ヲ以テ其業ニ就クノ地ヲ得セシ

ノ、且最有益ニ其時ヲ充タスニ足ルヘキ事業ノ多寡ヲ以テセシメサル可カラス、第三各級トモ必其教員、若クハ某人ノ其級ノ事業ヲシテ至當ニ執行セシムルノ責ニ任スヘキ者ヲ有セサル可カラス、而シテ滿場ヲシテ其位地ヲ占メ且整頓セシムルコト、宜シク充分其教員ノ眼下ニ在ルカ如クスヘシ、第四各級ヲシテ、他級ノ障害ヲ受クルコトナク、最大無上ニ其事業ニ注意ヲ凝聚スルコトヲ得ルノ地ニ在ラシムヘシ、第五各級ヲ整頓スルニ、宜シク其兒童ヲシテ入リ易カラシメ、且他級ヲ妨害スルコト無クシテ、室外ニ出ツルヲ得セシメンコトヲ務ムヘシ、第六器具ノ配

分諸級ノ配置ヲシテ宜シク教師カ、何レノ方ヨリスルモ、充分ノ監視ヲ得ルニ足ラシムルカ如クスヘシ、抑斯ノ如キ整頓ノ要ヲ覺ル時ハ、惰生ヲ戒禁シ、御シ難キ者ヲ抑制スルコトヲ扶ケ、又勉強生及ヒ教員ヲ奮勵奬督スルノ効アリトス、第七至當ノ備ヲ設ケテ、位置ノ變換及ヒ各異ノ心力ノ運用ヲ促ス所ノ事業ノ更迭アラサル可カラス、第八級ニ面シテ黑板ナカル可カラス、又冗雜及ヒ時間ノ損失ヲ防カンカ爲ニ、其級使用ノ諸物ヲ舉ケテ、之ヲ其應手ノ地ニ備ヘ置カンコトヲ要スルナリ、

第二章　教授力ノ本性

第一　教師其助手ヲ有セサル所ノ編制

最單一ナル編制法ハ、教師只一人ノミニシテ兒童ヲ率サルノ場合ニ於イテ存ス、斯ノ如キ編制ヲ履行スルノ理法タル、其直接ノ授業ヲ爲スニ方リテハ、一時ニ一級ヲ負擔スト雖然レトモ又其既ニ指命セル某ノ事業ニ着カシムルニ足ルヘキ監督ヲ他諸級ノ上ニ保持スルニ在リ、而シテ其事業ナル者ハ、溫習習字若クハ設題ノ運算等タルヘシ、蓋斯ノ如キ事情ニ於イテ與フル所ノ教授ハ、其全ク教師ノ手ニ歸スルヲ以テ、夫或ハ恰好ナルコトヲ得ヘク、而シテ其教化モ亦同理ニ因リテ、夫或ハ正當ナルコトヲ得ルノ望ナシ

トセサレバ、此編制ハ、左ノ攻擊ヲ容ルヘキノ地アリ、則教師ハ、其面前ノ級ノ教授ニ其全心ヲ注クコト能ハスシテ、屢其教授ヲ止メテ他諸級ノ需ニ應セサル可カラス、又教師ハ諸級ニ供スルニ陸續且適應シタル着業ヲ以テスルコト克ハス、而シテ此場合ノ情狀ニ由リテ之ヲ觀ルニ、教師ノ授業ノ諸方法モ亦其術數ニ限リナカラサルコト能ハス、學校ノ教化ヲ鼓舞スルニ或ハ許多ノ規矩準繩ヲ假用スルノ所爲ニ出ツヘシ、而シテ整然タル自働ノ必須ナル適量ヲ各兒ニ求メンコトヲ諸級ニ望ムニ方リテハ、之ヲ好教化ノ能クスル所ノ者ニ較シテ、稍風調ノ美ヲ失ハンコトヲ知ルヘキナリ、此ノ如キ障礙アルカ上ニ、尚一ノ之ヨリ甚シキ者アリ、何ソヤ、則此編制ノ法タル、其活用ノ途、於イテ太甚狹隘ナル是トリ、於令此法ヲシテ、小ナル學校ニ於イテ幾多ノ成蹟ニ歸着セシムルモノトスルモ、大ナル學校ニ於イテハ、教師其畢生ノ勢力ヲ盡悉シテ、以テ日々最大ノ勤勞ヲ致スモ、其全ク行ハレサルニ非サレハ、則其必不完全ナルコト明カナリ、觀ヨ、生徒其數ヲ增シテ學校益繁榮ナレハ、則其効力愈減少セン、如何トナレハ、各級ニ配當スルコトヲ得ヘキ所ノ時間ノ數ハ逐次ニ減シテ、終ニ教授ノ效驗ノ學校ニ於ケル、其有無如何ヲ認ムルコト能

ハサルノ點ニ達シ、而シテ其教化モ亦等一ノ速度ヲ以テ敗頽セサルコトヲ得サレハナリ、故ニ吾カ輩ハ茲ニ其結局ヲ述ヘンニ、斯ノ如キ編制法ハ唯小ナル學校ニ施用スルコトヲ容サン而已然リ而シテ苟編制ヲ以テ一ノ修討スヘキノ科目トシ、經濟上ノ思考モ亦他法ヲ容ル、コトヲ得ル時ハ、決シテ斯ニ滿足スヘキニ非サルナリ、

若既ニ學校ニシテ某ノ限界ヲ越ユルニ當リ、其教師タル者有効的ニ之ヲ主理セント欲セハ、必助手ヲ俟タサルコトヲ得ス、而シテ其助手タル、唯焉ニ二種アルノミ、則一ハ成丁ニシテ練熟シタル者、又一ハ生徒若クハ授業生ナル者是ナリ、凡編制法ノ既ニ世上ノ試用ヲ經タル者數種アリト雖、之ヲ要スルニ、前ニ述載シタル一法ヲ除クノ外皆此二者ノ一ニ編入シ得サルハ莫シ、因リテ爰ニ首トシテ其練熟シタル助教師ノ補助ヲ有スル編制ヲ述ヘン、

第二　練熟シタル助教師ノ補助ヲ有スル編制

此編制ノ完全ニ伸暢シタル所ヲ述フレハ、各級トモ之ニ屬セル教員及ヒ教室ヲ有スルニ在リトス、抑此法ハ苟各異ノ級ヲシテ、一箇人ノ手ニ於イテ盡ク之ヲ感化シ之ヲ教導スルニ方リテ過大ナラサラシム

ルトセハ、學校編制ノ最良法ト謂フヘシ、如何トナレハ、斯ノ如クセハ、各級皆直接ノ教授ヲ受クルカ、若クハ直接ノ監督下ニ在リテ、某ノ課程ヲ就スヲ以テ、陸續トシテ且適宜ニ其業ニ着ケハナリ、又各級トモ、其威重ト辨決トヲ將テ勞作スル者ト假定シ得ヘキ人ノ治下ニ在リ、而シテ教員ノ生徒ト日々相觸接スルハ、其教員ヲシテ、生徒ノ心上ノ常習ト其心地トヲ認識シテ、着實ニ其方籌ノ應用スルニ適セシハレハナリ、然リ而シテ吾カ輩ハ、此編制ニ二種ノ變體アリテ存スルコトヲ見ルナリ則一人ノ教員ニシテ一級ヲ率ヰ、其學科ヲ兼ケテ皆之ヲ負擔スル者アリ、又ハ一級其各異ノ學科ニ應シテ、各異ノ教員ニ之ク者アル是ナリ、蓋幼稚ノ生徒ニ在リテ、彼ノ輩カ切ニ要スル所ノ彼ノ教化及ヒ教授ノ同一輙ヲ得ルノ事タル、前者應ニ優良ノ便ヲ與フヘキヲ以テ、之ヲ撰用スヘシ、而ルニ其同一輙ナル者ハ、成長進歩シタル生徒ニ在リテ必須ナルコト、彼ノ幼兒ニ於ケルカ如ク夫然ラス、然リ而シテ一ノ教員ヲシテ一學科ニ其身ヲ委ヌルコトヲ得セシムルハ、恰之カ教授ニ一層大ナル精巧ヲ需ムヘキヲ以テ後者ヲ撰用スヘシ、然レトモ本條述フル所ノ編制法ノ如キハ概尋常小學校ノ資力ノ能ク實行スル所ニ非サルヘクシテ、特一公私ノ中學

ニ見ル所ナリ、

第三　授業生ヲ有スル編制

モニトーリアル・システム譯シテ「授業生法」ト云フ編制ハ、又「相互教授法」ノ名アリ、其溫藹ヲ尋ヌルニ、今ヲ距ルコト八十三年英國ニ於イテ、ベル及ヒランカスタルノ兩氏カ、各獨立ニ起按シテ、之ヲ該國ノ學校ニ創設試用セレニ始ルモノ、如シ、乃其本質ヲ舉クレハ左ノ如シ、生徒ノ年長高等ノ者數名ヲ拔擢シテ、之ヲ各級ニ配附シ、以テ之カ教授及ヒ定規ノ業務ヲ主ラシメタリシカ故ニ、其實ハ教師ノ部下ニ屬スル尋常教員ニ異ナルコト無カリキ、而シテ其教師ハ、之カ

事業ヲ監督シ、之カ授業法ヲ指諭シ、之カ授業ノ缺ヲ補フヲ以テ自其任トシ、敢テ特別ノ級ヲ負擔セサリキ、此法ヲ恰好ナル精神ニテ實踐セレ地方ニ在リテハ、授業生等其公務ノ餘暇ヲ以テ、其教師ニ就キテ自己ノ課程ヲ學習シ、且其職務上些少ノ報酬若クハ褒賞ヲ得タリ、抑此法タル、巨大ノ小學校ヲ主理スル一輕便ナリシヲ以テ直チニ英國一般ニ之ヲ採用スルコト、ハ爲リタリ、其教授ニ關スル所ノ便易ヲ擧クレハ、教師ヲシテ、級數幾許多キモ陸續トシテ其諸級ノ修業ヲ促スノ手段ヲ得セレメタルニ在リ、又其教化ニ係ル所ノ便易ヲ擧クレハ、授業生ノ眞實ナル、其

勤勉ナル、其循正ナル等皆生徒ノ性質ヲ有益ニ感化スルニ足ルモノアリタリ、而シテ其最大利便タリシ所ノ者ヲ述フレハ、貧困地方ト雖尚容易ニ之ヲ採用スルコトヲ得シニ在ルナリ、然レモ必竟此法ノ功德タル所ハ、後年ニ至リテ稍之ニ勝レル方法ヲ按起シタルノ基源タリシニ過キスト云フモ敢テ其面目ヲ毀損ストハ爲サヽルヘキナリ、如何トナレハ、其眞面目ニ於イテ、有効ノ方法タリシトハ、決シテ認メ得サレハナリ、蓋授業生ノ教授タル、其目的明晰齊一ナラス、其一般ノ手練ニ於イテモ亦缺所ナキコト能ハス、殊ニ其薫陶スル所ハ甚感重ニ乏シトス、是ヲ以テ苟

發育熟達シタル心意ト、確乎トシテ尊信スヘキ感重トノ、其事業ニ射注スルニ非サルヨリハ、教育ノ名義ニ直ルニ足ルヘキ者、決シテ有ルコト克ハサルナリ、假リニ強盛ナル教師ノ補助ヲシテ、其授業生ヲ驅リテ、以テ其定規ノ事業ヲ踐行センコトヲ利シ、若クハ其外貌ノ整齊ヲ保全スルニ於イテ、彼ノ輩ヲ扶助センコトヲ利スルニ足ルコト、幾許多カラシムルトスルモ、其未以テ全級ノ深思ヲ覺發誘導シ、若クハ器械樣ノ者ト殊ニシテ、德性上ノ感重ヲ眞用スルノ勢力ヲ貸與シ得ルモノト爲サヽルコト必セリ、是故ニ授業生ヲ假ルノ法タル、苟學校ノ目的ヲ一層高尚ノ點

ニ附セント欲スル時ハ、全ク失敗ニ屬スト謂フヘシ、而シテ其業ノ節儉ナルト、外貌ノ美アルカ如キトハ、共ニ其損失ヲ償フニ足ラサルナリ、

第四　生徒教員ヲ有スル編制

英國ニ於イテ、教育樞密議定院委員ノ創置前ニ當リテ、エジンバロー及ヒ倫敦兩府ノ許多ナル小學校ニ於イテ、既ニ生徒教員ヲ雇役セシコトアリシカ、今ヲ距ルコト三十五年卽西曆一千八百四十六年、該委員ノ報告書ヲ以テ、生徒教員法ナル者ヲ薦告建設シタリキ、而シテ此法ハ、該委員ノ長官タリシヤットルウ、ルス公ノ名ト與ニ弘ク世ニ知ラルヽコトヽハナレリ、抑生徒教員法トハ、英語ノ「ピューピル・チーチヤル・システム」ノ謂ナリ、而シテ又其「文部省法」ノ名アル所以ハ、教育樞密議定院卽文部省ノ薦告創設ニ係ルニ因ルナリ、此法ニ據レハ、五年間ノ修行ヲ助手タル者ニ要シ、其嚴正陸續ノ勤務ヲ擁護シ、且其年間、彼ノ輩ヲシテ教授ト本業上ノ訓練トヲ受領セシムルヲ以テ、一層高尚ナル學校事業ニ分任シ、且其修行期限ノ内、少クトモ後半期間ハ、其諸級ノ上ニ至當ノ威重ヲ運用スルニ適セシムルモノト豫定シ得ヘシ、蓋此法ハ、前述ノ備アルヲ以テ、其幾許カ彼ノ授業生法ニ勝ル所アルコトヲ知ルニ足レリ、世上既ニ二樣ノ駁擊ヲ

斯ニ容ルヽ者アリト雖、苟此法ヲシテ通常ノ景情ニ應用セシメナハ、二者共ニ未以テ其功德ヲ襲フニ足ルヘキ性質アリト爲サス學校甚大ニシテ、例ヘハ六人以上ノ助手ヲ要スル時ハ、論者乃曰ハク、練熟シタル勤勞ノ不練熟ノ者ニ於ケル、其比例甚過少ナリ、而シテ感勢流出ノ中心ハ僅ニ一二止レハ、斯ノ如キ衆多ヲ活動スルニ足ラス、又其發育熟達シタル教師ノ心意ハ、充分ニ其諸級ト相觸接スルコト無キカ故ニ、一二ノ印象ヲタニ各級ニ遺存セサルニ至フント、又他ノ駁論ハ、全ク此法ノ功德如何ニ在ラスシテ、其費用ノ多キニ因緣スル者ナリ、

抑此編制ハ、英國ニ於イテ、目今廣ク邦内ニ行ハレ、尚將來ニ永續スヘキ者ナレハ、苟此法ニ據ルカ、若クハ之ヲ採用セント欲スル國ノ教師ニ在リテハ、其如何カ最有効ノ活用ヲ施シ得テ、其冀圖ニ達スヘキコトヲ熟知セサル可カラサルナリ、凡教師タル者ハ、左ノ情狀ヲ備フル者ニ非サルヨリハ、其修行スヘキ候補ヲ撰擢セサルコトニ首トシテ注意スヘシ、則其候補ハ、身體强健ニシテ、方正巍儀ノ常習アル者、其性質淳良ニシテ、篤實謙讓快活ノ心地アリテ、且此等美德ヲ感染セル家庭ヨリ來レル者、教授ノ偏向アリテ、且其願望スル所ノ事業ニ明カニ嗜好アル者ナランコト

ヲ要ス然リ而シテ優良ナル識量及ヒ學力ハ、前三項ニ次キテ撰取ノ考按ニ容ルヘシト雖然レモ小學校教員ノ奏功如何ハ、專其德性上ノ性質ト其心地トノ良否ニ關スル者ナレハ、唯ニ心智上ノ資格ノミヲ以テ、其候補ヲ撰用スヘキニ非サルコト必セリ、教師ハ又其候補ヲ助手ニ命スルノ後ハ、之ニ對シテ其義務ヲ信實ニ盡サンコトニ注意セサル可カラス、以上ノ事項ハ、英國ニ於イテ、法律ノ明文之カ實踐ヲ教師ニ要スル所ナリ、尚其義務ヲ詳述セン、教師ハ日々適當ノ時間(即小學校正課時間ノ前或ハ後若クハ前後)ニ於イテ、法令上指定セル諸學科ノ教授ヲ充分其助手ニ施サヽル可カラス、蓋彼ノ輩此教授ヲ要スルヿト甚切ナル所以ノ者ハ、其前途ニ横レル事業アルカ爲ノミナラス、彼ノ輩生命ノ至大至切ノ此期ニシテ、苟勤勉沈思センコトノ訓練ヲ受ケシメサレハ、後又此等ノ常習ヲ薫漸セント欲スルモ、豈得易カラン哉、既ニ其本業上ノ訓練ヲ以テ彼ノ輩ニ負ハセ、其漸ク經驗ト識量トヲ得ルニ從ヒテ、教師ハ彼ノ輩ヲシテ教授及シ學校管理ノ諸種ノ部ニ馴習セシムヘシ、而シテ之ヲ就スノ目的ハ、唯ニ自己ノ學校ノ目下ノ昭盛ヲ期スルニ止ラスシテ彼ノ助手カ將來有用ノ人タランコトヲ期スルニ在ルヘシ、又教師ハ其爲サン

コトヲ彼ノ輩ニ要スルノ事業如何并ヒニ如何カ之ヲ成スヘキコトヲ解說スヘシ、又一ニハ彼ノ輩カ循正ニ自其事業ノ準備ヲ爲シ、且精密ニ之ヲ就スヤ否ヤヲ搜討悉明シ、屢其勞働ノ狀勢ヲ監視シ、其成功ヲ見テハ、則之ヲ賞讃シ、之ヲ奬勵シ、其失敗ヲ觀テハ、則其因スル所ノ者ヲ指教センコトヲ務メ、且模範トシテ、豫定ノ時間ニ於イテ、自己ノ調理法ヲ彼ノ輩ニ實視セシムヘシ、加旃教師ハ、之ニ對シテ溫恭正肅ノ威重ヲ運用シ、又彼ノ輩カ不當ノ責任殊ニ賞罰ノ件ニ涉ル者ヲ侵サンコトヲ抑制シ、只其負荷ノ任ニ堪フヘキ者ヲ以テ之ニ課シ、且之ヲ自己ノ信委ノ裡ニ引

容シ、教員トシテ之ヲ其地位ニ尊重スルコトヲ、生徒一般ニ實示スル等ノ事ニ藉リテ、彼ノ輩カ其威重ヲ運用センコトニ訓練スヘシ、然リ而シテ教師カ、生徒教員ニ對スル道德上ノ義務タル、之ヲ法制上ノ者ニ比スレハ、一層廣ク且深シト謂フヘシ、抑教師ハ、其勢力內ニ於イテ、各種ノ手段ヲ施用シ、以テ百方彼ノ輩ノ福祉ヲ增進センコトヲ必期スヘキモノトス、故ニ身自彼ノ輩ノ生業ニ感趣ヲ抱キテ、以テ之カ益ヲ圖ラサル可カラス、之ヲ詳述セハ、彼ノ輩カ私ニ閱讀スル所ノ者ニ關シテ示諭シ、且其心裏ニ正當ナル勉學ノ嗜好ト習慣トヲ培養シテ、之ヲ其心泉ニ備ヘ、彼ノ

輩ヲシテ、他日其本業上ノ目的ニ應シテ、自之ヲ汲ミ且用ヒシメンコトヲ冀圖スヘキヲ云フナリ、又教師ハ彼ノ輩ノ友タリ師タラサル可カラス、且唯ニ其本業上ノ性質ヲ視察スヘキノミナラス、兼テ其一般ノ性質ヲ督査スヘキナリ、然リ而シテ教師ハ彼ノ輩カ襲踏スルニ足ルヘキ生活及ヒ品藻ノ模範ヲ以テ之ニ示サヽル可カラスト雖、其須ラク勉ムヘキハ、彼ノ輩カ尊信ト好意トヲ以テ其示與セラレタル模範ニ則ルニ至ラシムコトノ勢威ヲ得ルニ在リ、

第五　助教師及ヒ生徒教員ヲ有スル混合編制

前數條既ニ記述セル諸編制ニ優リテ、尋常小學校ニ行ハルヘキ者尚焉ニ一アリ、則教師ヲシテ、練熟シタル成丁ノ助教師一二人ト、生徒教員數名トヲ組ミ合ハセタル雇役ヲ收メ得セシムル是ナリ、此混合編制ハ、生徒教員法ノ純然タル授業生法ニ於ケルノ改進ト齊シク、始ト生徒教員法ニ於ケルノ改良タリトスヘシ、而シテ其然ル所以ノ實ハ、後年發表セシ彼ノ教育振興議定院委員ノ報告書中編制ニ係ル部分ニ於イテ明カニ之アルコトヲ見ル、則一千八百五十九年五月ノ報告書ニ據レハ、生徒教員四人毎ニ、一人ノ教師若クハ成丁ノ助教師ヲ要スルモノトス、斯ノ如キ

整頓タル、大ナル小學校ヲ主理スルニ於イテ、皎然タル感歎流出ノ中心ハ、特ニ一ニ止ラサルヲ以テ、生徒教員法ヲ排擊セル彼ノ駁論ニ當ルノ考按ト謂フヘシ、抑此法ハ發育熟達シタル心智アル者ヲシテ、稍多ク授業ノ一層高尚ナル諸部ニ分任スルコトヲ得セシメ、而シテ生徒教員ニ多ク附與スルニ、其充分ニ負擔シ得ヘキ所ノ輕仕ノ職務ヲ以テスルコトヲ得、如此法タル、助教師ニ要スルニ、其時間ノ一分ヲ以テ生徒教員ノ教育ニ充テンコトヲ以テスルカ故ニ、彼ノ輩自己ニ領スル所ノ教育ヲシテ一層有効ナラシムルノ手段ヲ與フルモノトス、思フニ今若成丁助教師ノ比例ヲシテ一人毎ニ三人ノ生徒教員ナラレメハ、目下ノ場合ニ於イテハ、編制殆ト完全ナルコトヲ得ン、

總ヘテ男女混合學校ニ於イテハ、此等助教師ノ一人ハ、女子タルヘキコト必要ノ件タルヘシ、如何トナレハ、女兒職工上ノ教授ヲ主理スルハ、女教師ヲ待ツヘク、又幼稚生等一般ノ教授ノ大分ヲ擔フハ、女教師ヲ可トスルノ事アレハナリ、

第三章　編級

第一　其切要及ヒ難易

級トハ、共同ニ教授ヲ受ケ又其教授ニ據リテ、最大ニ

利潤ヲ蒙ルニ適ヒタル兒生ノ群ヲ云フ、抑級ノモノタル、教師ヲシテ其時間ト勤勞トヲ節約スルコトヲ得セシメ、學習者ノ睿智ト活動トヲ暢發スルニ最良ナル圈内ヲ領セシム、又教授ノ効力ヲ增長シ、陸續適應シタル業務ヲ發見シ、司轄ヲ確立シ、并ヒニ學校ノ整齊靜謐ヲ保存スル等ノ手段ヲ以テ教師ニ供ス、故ニ善良ノ編制ハ學校ノ功績ニ切要ナルコト明カナリ、然リ而シテ輕忽ニ一見シ去レハ、兒童ノ同一ノ課程ヲ踐ミテ、大略同一ノ程度ニ達シタル者ヲ群集卽衆類セシコトハ、至リテ平易ノ業ニ屬スルカ如シト雖、此施方タル、種々ノ考按ノヲ左右スル者在ルアリテ、爲ニ之ヲシテ一層難カラシムルモノナレハ、彼ノ初見ノ易々タルカ如ク夫然ラサルナリ、今其難事ノ一ヲ擧クレハ、部類卽諸級ノ數タル、必効功ヲ期シテ能ク其首領卽教員ヲ配附シ得ルニ足ルヘキ點ヲ決シテ多カル可カラサルノ事アリ、又其二ヲ擧クレハ、假令其大部類ヲ成セル者ヲシテ一般ノ基程ニ達セシメタリトスルモ、其進步ノ各異ノ學科ニ於ケル、殊ニ讀書算ノ緊切學科ニ關スル、甚屢變交スルモノタルノ事アリ、第三ノ難事ヲ述フレハ、學校ニ於イテ時トシテハ、其共ニ同級ニ編入スルニ適當セル生徒ヨリハ甚年長軀大ノ者アリ、然レトモ斯ノ如ク之ヲ

編入スル時ハ、爲ニ其兒ノ自重ヲ害シ、爲ニ其業ニ注クヘキ全心ヲシテ斯ニ失ハシムルニ至ラシ、然リ而シテ其永ク學校ニ存在シテ、遥ニ衆他ノ生徒ノ上ニ拔出スルカ故ニ、其在學ヲシテ眞ニ教師ノ一難事タラシムル者ノ如キハ、斯ニ記載セサル所ナリ、

第二　編級ノ基礎

甲凡編級ハ、左ニ述フル所ノ人性ノ本源ノ理法ニ適合スヘキモノトス、則人ノ能量ニ參差アリテ、或者ハ直チニ某種ノ學科ニ嗜好ヲ生シ、若クハ自然ノ偏好ヲ有シテ、之ヲ他ノ學科ニ失フコトアリ、又某ノ學科カ、兒童ヲ喚起シテ其便易ナルコトヲ之ニ促スニ當リ、其啟發此人ニ急ニシテ、彼人ニ緩ナルコトアリ、(乙)故ニ年齡及ヒ在校年月ノ長短ヲ以テ、學校ヲ彙類スヘキノ憑據トハ認ムヘカラス、然レトモ其進歩タル、左ノ景情ト相平均セサル可カラス、則兒童將ニ學校ヲ去リテ一ノ職業ニ就カントスルノ期ニ至ラハ、平均ノ進歩ヲ爲シタル者タルヘシ、兒童人苟同一ノ學校ニ永ク在リタル者ナル時ハ、其受ケシ撫顧ノ證明ヲ現呈セサル可カラサルモノタリ、丙彙類卽編級トハ、類ニ從ヒテ聚ムルノ謂ニシテ、學校ニ在リテハ、能量及ヒ學力ヲ以テ眞ノ類トス、故ニ苟斯ニ基キテ以テ其類ヲ彙ムル時ハ、其教授タル、生徒一般ニ應用シ得

テ能ク過不及ノ害ヲ避ク可シ、果シテ然ル時ハ、兒童等皆相競ノ機域ニ在リト謂フヘシ、是之ヲ競進ヲ奬勵シ、強盛ノ勞働ヲ勸促スルニ恰好ナル情勢ト謂フナリ、蓋兒童等其位置殆ト同等ナル時ハ、其群類ノ共感相互ノ禮讓并ヒニ其心ト、ノ活動等皆甚優逸ナルモノナリ、丁各兒ハ、自己ノ進歩ノ爲ニ、成ルヘク最良ノ景情ニ据ヱラレンコトヲ望ムノ權アリ、而シテ其一科ノ進歩ニ遲々タルカ故ニ、他科ノ進歩ヲ阻フルコトハ、正面ノ不正義タルニ屬スルモノナレハ、脩身讀書算術習字及ヒ其他ノ學科ニ應シテ、井然タル編級アルヘキモノトス然リ而シテ單ニ一樣ノ編級ヲ

有スルハ、其須ラク基クヘキノ理法ト、小學校ノ目的トヲ并ハセテ、之ヲ拋擲ニ附スルニ異ナラス、今若兒童等讀書及ヒ算術ニ於イテ同級ニ在リテ、其進歩ノ兩學科ニ於ケル相齊シカラサル時ハ、其兩學科ニ於イテハ、相競ノ機域ニ在ラサルナリ、故ニ又競進アルコト能ハス、加旃學力ニ差違アルコト夫斯ノ如クナレハ、其教授タル、生徒一般ニ適應スルコト克ハス、故ニ衆皆其害ヲ蒙ルノ理ナリ、又小學校ノ目的タル、兒生ヲシテ、脩身讀書算術習字等ノ學科ニ於イテ、充分ニ訓誨ヲ得セシメ、其心意ニ一般ノ教化ヲ須セシムルヲ以テ主要トスレハ、單ニ一樣ノ編級ヲ有スルハ、

則其充分ノ訓誨ト、心上ノ教化トヲ擁護スルニ最良キ手段ノ一ヲ放棄スル者ナリト謂ハサルコトヲ得ス、譯述者云フ、以上ノ一段ハ、キル氏ノ論ナリ、蓋實際級ヲ編ムニ當リテ偏ニ之ニ據リ難キ所アリ、故ニ之ヲ後條ニ取捨ス、戊故ニ相競ノ機域ニ兒童ヲ維持セント欲セハ、數回ノ試驗ヲ施シテ其秀逸ノ者ヲ移サヽル可カラス苟斯ノ如クセハ、教化ノ怠慢ヲ制禦シ、全級ノ勞働ヲ盛ンニ激興スルコトヲ得ヘシ、蓋此景情ニ在リテハ、一人モ其留滯セラーンコトヲ憂ヒテ落膽スル者ナキヲ以テ、最勉者ハ益勵ミ、最惰者モ亦其勞力ヲ重ヌルノ情欵ヲ發起スルニ至ラン、己事業

ノ難易ノ階梯ヲ編ムコトハ、左ノ點ヨリ之ヲ見ル時ハ、緊要ノ事項タリ、則兒生カ一級ヨリ他級ニ移ルニ方リテ、其去リシ所ノ者ト、其就キシ所ノ者トノ間ニ、大差等アルカ爲ニ、其落膽ヲ來スカ如キコトアル可カラス、蓋其兒生ニ在リテ、事業ノ幾許カ難キコトヲ發見スルモ、然モ之ヲシテ其位置ヲ維持スルニ太甚難カラシムルカ如ク夫然ルニ非サルヘキナリ、

第三　編級ハ單ニ理論ニ據リ難シ

前條既ニ編級ノ基礎ハ、人性本源ノ理法ニ適合スヘキコトヲ記述セリ、蓋爰ニ之ヲ約言セハ、兒童心意啟發ノ度ニ關スルノ謂ナリ、然レトモ實際ヨリ之ヲ論ス

レハ、此理法ニ據リテ兒童ヲ彙類センコトハ、至リテ艱難ノ事タリ、如何トナレハ、吾人未完全無疵ノ點檢方ノ、據リテ以テ各兒ノ仔細ナル能量ヲ測度スヘキ者ヲ有セサレハナリ、實際ノ事情夫斯ノ如クナレハ、吾人ハ只吾カ管理内ニ在ル所ノ一手段ニ訴フルノ外又他途ヲ有セス、則教育各種ノ學科ニ於ケルノ進歩ヲ以テ表示セル兒童ノ識量是ナリ、然レテ之ヲ發見スルハ、試驗ヲ施スニ在レハ、試驗ニ於イテ苟能ク精細綿密ナル時ハ、各兒ノ識量ヲ殆ト測度レ得據リテ以テ編級ノ法ヲ施スコトヲ得ヘシ、故ニ試驗益精密ナレハ、則識量愈詳明ナルノ理ニシテ、區分又愈夥

多ナラサル可カラサル所以ナリ、而シテ其區分益細夥ナレハ、則級數愈許多ナラサル可カラサルコトモ亦當ニ然ルヘキ所ナリ、然ルニ一方ヨリ之ヲ論スレハ、目下ノ事情ニ於イテハ、教授力ニ際限アリテ、爲ニ其缺乏ヲ來シ生徒ニ配當スヘキ注意ハ益其寡キヲ加ヘ殆ト射注ノ効力無キニ至ラン、又一方ヨリ之ヲ論スレハ、教師タル者、徒ニ編制ノ便易ニ任セテ、兒童ノ趣味潤益ヲ之カ犧牲ニ供スルノ理由トキモノトス、故ニ試驗ヲ精密ニシ、識量ヲ成ルヘク悉明シ、區分ヲ細小ニシテ、以テ級數多キヲ加ヘン乎、教授力ノ缺乏ヲ來シ、其凝聚ノ效驗無キコトヲ如何セン、然ラハ

則區分ヲ廣大ニシテ、以テ級數寡キヲ加ヘン乎編制稍容易ナリト雖、學力相等シカラスシテ、其ニ進歩スルコト能ハサルノ兒童ヲ抱括スルノ憂アリテ、優者ハ漸ク挫折落膽シ、劣者ハ彌怠慢放侈シ、必竟兒童ノ趣益ヲ以テ編制ノ犧牲ニ供スルノ舉タルヲ如何セン、蓋此二者ハ猶其的ヲ定視セスシテ丸ヲ放ツカ如シ、其中不中ハ則僥倖ニ任スノミ、然レモ教育ノ體面ニ在リテハ、一トシテ偶然ニ附スヘキ事無ケレハ、二者皆偏ニ兩極ニ走レリト謂フヘキナリ、此ニ由リテ之ヲ觀レハ、吾カ輩前條記述ノ基礎論ノ如キモ、其中亦稍偏極ノ恐アル者無シトセサレモ、是ハコレ普通

ノ理法ヲ具シタル一邊ノ理說ニシテ、編級ノ際固ヨリ成ルヘク其考按ニ引容セサル可カラサルコトヲ主唱セシニ過キス、吾カ輩豈自家矛盾ノ罪ヲ斯ニ犯ス者ナラン哉是故ニ總ヘテ斯ノ如キ場合ニ在リテ、辨明スヘキ實際ノ問題タル、進歩ノ某ノ度ヲ以テ某ノ級ニ於ケル最高第トスル時ハ其教授ノ音調タル、最高第ニ對シテ、之ヲ其太甚低キニ失セス、又最低第ニ對シテモ、之ヲ其太甚高キニ失セス、弛張ノ實其宜シキヲ得ルカ如ク夫安全ニ許容シ得ヘキ其最低第トハ如何ニ在ルナリ、而シテ單ニ理論ニ基キテ之ヲ解釋シ去ランコトハ、得易カラサルノ業タレハ、必ヤ

各種ノ考按ヲ引容シ、殊ニ生徒ノ實況ヲ洞察シテ、以テ之カ教導ト爲スヘキナリ、吾カ輩ハ、今將ニ英國ニ於イテ實際行ハル、所ノ編級一二例ヲ舉ケテ之ヲ述ヘ、以テ此問題解釋ノ參考ニ供シ、并ハセテ吾カ輩ノ見解ヲ下ス所アラントス、

第四　複雜編級○其一學科ヲ舉ケテ三類ニ分ツ者○其二學科ヲ舉ケテ二類ニ分ツ者

一科ニ一級ヲ設ケ、衆多ノ兒童ヲシテ、各異ノ學科每ニ、各異ノ級ニ就カシムルカ如キハ、教育普及ヲ其圖スルニ於イテ實行セラルヘキ者ナラサルノミナラス、其屢級ヲ變更スルノ不便厭フヘキカ上ニ、未明カニ好實蹟ヲ生セサルヲ以テ、今ハ殆ト一般ニ其跡ヲ絶セリ、而シテ目下稍行ハル、所ノ編級ハ、教授ノ科目ヲ舉ケテ之ヲ三類ニ區分ス、則脩身英語讀書綴字、作文文法ヲ含有ス、地理歷史ヲ第一類トシ、算術及ヒ其應用ヲ第二類トシ、習字及ヒ圖畫ヲ第三類トスル是ナリ、然リ而シテ此三類モ亦各其進步ノ程度ニ應シテ、一二ノ等級アルモノトス、夫斯ノ如クナル時ハ、正課時間ノ一分間ハ、其學校タル、覩英語學校ニシテ、其兒童ハ英語課ノ業ニ着キ、又他ノ一分間ハ、其學校タル、算術及ヒ其應用ノ學校タリ、而シテ其餘ノ時間

ハ、習字及ヒ圖畫ノ學校ナリ、抑此編級ハ、同一ノ才幹ヲ運用スル所ノ諸學科ヲ同一ト料度スル者ニシテ、教師ヲシテ、修業各種ノ部分ニ於イテ、其適好ト優逸トニ從ヒテ、概冀望シ得タル仔細ノ度ヲ以テ、兒童ヲ配分スルコトヲ得セシメ、爲ニ其殊勝ノ進歩ヲ冀期スルニ適セシム、加旃此法タル、教師者其一類細目ノ全體ノ關係ヲ同時ニ視察シ得ルカ故ニ、各部ノ監督一層有効ナルノ手段ヲ得ルモノトス、

思フニ尚一層普通ニ行ハルヽ所ノ編級ハ、只僅ニ二中點ニ基因シテ諸種ノ學科ヲ類別スル者是ナルヘシ、此法ニ據レハ第一類及ヒ第二類ハ前ニ記述セシ者ニ等シト雖其第三類ノ習字及ヒ圖畫ヲ彼是ノ一類ニ編入スルモノナリ、蓋其特別ノ編級ヲ必要トセサレハナリ、故ニ此法ハ諸種ノ學科ニ於ケル才幹ニ從ヒテ、兒童ヲ整頓スルコトノ正理ナルヲ認識スト雖、尚其必須ニ非サルヘキノ階級整頓ヲ累ハサンコトヲ務メテ避クルニ在リ、

第五　單樣編級

尚一歩ヲ進メナハ、吾カ輩ヲシテ單樣編級ニ達セシムヘシ、則教授ノ諸種ノ學科ニ關シテ、殊更ニ級ノ區別ヲ設ケサルノ編級ヲ云フ、而シテ此法ヲ以テ前述ノ者ニ參照スルニ、二者各小學校ノ目的ニ於イテ、稍

其見解ヲ異ニスルニ因緣スト謂フヘシ故ニ一方ヨリ之ヲ觀レハ教育ハ各人ノ才幹ヲ啓發シ殊ニ其才幹カ自傾向スル所ノ方位ニ之ヲ開伸スルニ於イテ成リ然ルカ故ニ最初ヨリ各生徒ヲシテ其學校ニ位置ヲ占メシムルニ方リテ其教授タル宜シク兒童ノ諸才幹ニ成ルヘク精細ニ適應スヘキ者ナリト認定セン此見解タル複樣編級ノ變體ノ一ヲ採用スルニ至ルヘキコト豈自然ノ勢ナラス哉又一方ヨリ之ヲ觀レハ前述ノ見解タル教育全體ニ關シテハ正當ナルヲ以テ高等教育ノ爲ニ設クル所ノ諸整頓ニ於イテハ固ヨリ之カ須要ヲ認メサル可カラスト雖小學校ノ場合ニ在リテハ多少ノ變陶更造ヲ之ニ加ヘサル可カラスト認定セン而シテ尚此見解ノ基因スル所以ノ者ヲ舉ケン小學校ニ在リテハ其諸才幹ノ謂ハユル特別ノ啟發タル之ヲ高等教育ノ地ニ較スルニ其暢發ヲ表スルノ域ニ甚乏シク必竟其實ハ僅ニ狹域裏ニ之ヲ表スルニ過キス又兒童ノ各異ノ學科ニ於ケルノ平均進歩ヲ考定シテ某級ニ編列セラレタル者ニシテ苟暫時ノ間少シク之ニ餘分ノ注意ヲ加ヘンニハ假令一二ノ學科ニ於イテ他ニ劣リタリト雖爲ニ教師ヲシテ到底兒童ヲ其級ノ程度ニ誘導スルコト難カラシムルカ如ク夫甚然ルモノニ非

サルヘシ、又小學校ノ冀圖タル、一二ノ學科ノ爲ニ其特別ノ才幹ヲ培養センヨリハ、寧諸種ノ學科ニ於イテ、平等ニ兒童ヲ進ムルニ在リ、而シテ此冀圖ニ達スルノ最良途ハ、唯一ノ編級ヲ採用スルニ在リ、果シテ然ル時ハ、一層進歩シタル兒童等ノ模範ハ、生徒ヲ衆ケテ其進歩ヲ勸奬激勵スルノ功効アルコト、往々教師ノ感勢ニ勝ル者アリトス、此見解ニ據レハ置樣編級ヲ採用スルニ至ルヘキコト、又自然ノ勢ナリ、吾カ輩ハ之ヲ採用センコトヲ好シトスルニ傾ケリ、如何トナレハ、首トシテ標準ヲ審ニシ、因リテ以テ諸級ヲ編ミ、然ル後固ク之ヲ保存シ、各級ニ附與スルニ確定

シタル性質ヲ以テシ、之ニ薫染スルニ共通ノ精神ヲ以テスルニ適スル者ハ、只此法ニ在リト考フレハナリ、蓋複樣編級モ亦兒生ノ學力ニ從ヒテ、其稍仔細ニ學科ノ適應スルノ點ニ於イテハ、單樣ニ勝レルノ利アルコトヲ許容スヘシト雖、某ノ科ニシテ、某ノ級ニ在リ、又他ノ科ニシテ他ノ級ニ移ルカ如ク夫明確ナラサルノ級生タル、常情ノ理ニ於イテ、其勞働ノ情款虛弱ナルヘキカ故ニ、其得失相償フナキヲ疑ハサルコトヲ得ス、然レモ其一ヲ可トシテ他ヲ排擊セント欲スルノ感爾ヲ以テ、此二者ノ優劣ヲ判スルハ、敢テ要トスル所ニ非サルナリ、蓋二者各其基ク所ノ見解

ニ於イテ眞理アリテ、共ニ同等ノ價直ヲ爭ヒ得ヘク、共ニ實用ニ於イテ奏功者タルコトヲ請求シ得ヘキナリ、

第四章　時間表

第一　其利

時間表ハ學校機關ノ切要ナル一部タリ、抑其利ノ教師ニ於ケル、其之ヲ有スルノ勝レルニ如カサルナリ、如何トナレハ、凡人ハ其定メタル意匠ニ據リテ事ヲ爲ス時ハ、多ク成シテ良ク就ル者ナレハナリ、而シテ又教師者其當題如何ヲ裁定スルニ方リテ、時間表之ヲ補助スルヲ以テ、學校調理ノ業百端ニシテ、殆ト其

途ヲ失スルノ際、尚能ク其幾分ノ勞苦ヲ脫スルコトヲ得ン、加旃其注意ヲ要求スル者稍減消スルニ因リ、教師ハ其一身ヲ以テ正課時間ノ業務ニ當リ、且小學校百端ノ請求アルニ際シテ、最切ナル彼ノ心意及ヒ目的ノ凝聚ナル者ヲ培養スル一層ノ自由ヲ得ン、又時間表ノ利ノ兒童ニ於ケル、豈亦鮮少ナラン哉、抑時間表ハ教授ノ各學科ヲ其豫定ノ時期ニ報告スルニ當リテ、之カ備考トナリ、其兒童ノ進步ヲ促スニ於イテハ、此事ニ勝レルモノ蓋又甚稀ナルヘシ、而シテ又諸學科ノ整頓ヲシテ、心力ノ諸部其次ニ應シ、其序ニ從ヒテ、其技ヲ演スルカ如キ卽心上ノ輕慰ト强働ト

ヲ更迭スルノ趣向ニ適セシムルノ機會ヲ與フルモ亦此時間表ニ在リ、實用上ノ課程ヲ學習スルモ亦適當ニ之ヲ順奉スルヨリ發生スルモノニシテ、則斯ノ如クセハ、兒童ハ時間ノ價直、守時ノ緊要法則ノ貴重、他人ノ通義ノ尊敬スヘク、信義ノ鄭重ニスヘキ事等ヲ以テ、益其心腦ニ印感スルニ至ラン、然リ而シテ此等ノ事項タル、總ヘテ皆學校成規カ教師ニ賦課スル所ノ矩ヲ越エスシテ、教師親之ニ順從シ、以テ其模範ト爲スニ因リテ督促シ得ヘキモノナリ、整齊及ヒ勤勉モ亦爲ニ上進スヘシ、如何トナレハ、某ノ事業ハ某ノ時間ニ爲スヘキモノトスル時ハ、師弟共ニ皆時間

ノ徒費ヲ避ケンコトニ配意シ、其着手ノ業ニ必要ナル各物ハ皆其處ニ在リテ、遂ニ全力ヲ率ヰテ、其賦課ノ業ニ傾向スルノ情款ヲ感シニ提起シ來レハナリ、

第二、時間表ハ何ヲカ表示スヘキ

時間表トハ、學校ニテ實際ニ成セル事業如何ト、其事業ヲ爲スノ順序如何ト、并ヒニ其事業ノ各部ニ歸與セル時間如何トヲ記載シタル者ヲ云フ、故ニ時間表ナル者ハ、各級事業ノ如何ト、其事業ノ方法卽溫習講述若クハ諳記ナルヤ否ヤノ如何ト、并ヒニ就キテ其事業ヲ成スヘキ人卽授業生生徒教員若クハ教師ナルヤ否ヤノ如何トヲ表スルニ非サレハ、其學校ニ於

イテ實際ニ成セル事業ヲ示スト爲サヽルナリ、又時間表ハ、其事業ヲ成スノ順序ヲ表センニハ、如何カ諸學科互ニ相繼續スル、如何カ其相關係シタル課程相進行スル、即讀書及ヒ其講述、若クハ口授及ヒ其問答ナルヤ否ヤ、且其事業ヲ成スハ、如何ナル場處ニ於イテスルヤ、即專卓子ニ於イテスルヤ、講堂ニ於イテスルヤ、若クハ教室ニ於イテスルヤ否ヤヲ明細ニ現サヽル可カラス、而シテ又時間表ハ、各學科ニ歸與セル時間ヲ示サンニハ、各課ノ長短ト、各學科一週間ノ課數トヲシテ瞭然タラシメサル可カラサルナリ、

第三　時間表ヲ製スルノ法何如

甲第一着ノ業ハ、其授クヘキ諸學科ヲ裁定スルニ在リ、凡何レノ學校ヲ問ハス、修身ノ一科タル、時勢ト情勢トニ論ナク、各人ニ必須ナルコト、固ヨリ疑ヲ容レサル所ナレハ、爰ニ之ヲ論外ニ措キテ、吾カ輩ノ考察ヲ贅セス、而シテ讀書習字及ヒ算術ノ三科ハ、必主要ノ注意ヲ受領セサル可カラス、何ントナレハ、此等ノ學科タル、他ノ諸科ニ從事スルニ當リテ、純全ニ緊切ナレハナリ、他諸科ニ在リテハ、學校生活ノ長短ニ由リテ其編入ヲ許容スヘキ者ニシテ、其中前三科ノ得識ヲ補助スル者又ハ三科ヲ應用シ得ル者ト、尋常ノ職業ニ適應ナル一般ノ準備トナル者トヲ以テ、其緊

要三科ニ亞ケリトス、文法地理歷史等ノ如キハ前者ノ情狀ニ當リ、圖畫博物物理化學生理幾何經濟簿記等ノ如キハ後者ノ情狀ニ當レリ、(乙)諸學科互ニ相繼續スルノ順序タル、之ヲ整頓スルニ方リテ、成ルヘク同種ノ學科直チニ相繫連セサランコトニ注意シ、以テ心腦ヲ輕慰スルノ備ヲ爲サヽル可カラス、蓋各學科トモ、之ヲ授クルニ、其急速ニ且必期シテ達得スヘキノ體裁ト情狀トニ於イテシテ、以テ其同一ノ目途(卽心腦ノ輕慰ト强働ト)ヲ收得セサルヘカラス、而シテ其相鄰接セル兩級ノ課程ニ於ケル、互ニ其事業ヲ相阻害セサランコトニ注慮スヘキコト、固ヨリ論ヲ

俟タス、又戶外運動ノ時間ハ、必豫定シテ之ヲ指命スヘシ、(丙)一課ニ歸與セル時間ノ長短ハ、兒童ノ年齡ト、學科ノ本性トニ基因シテ之ヲ定メサル可カラス、兒童益幼稚ナレハ則其注意ヲ固着スルニ堪フヘキノ時限愈短縮スヘシ、而シテ其位置及ヒ着業共ニ變更ヲ要スルコトモ亦愈大ナリ、學科又心腦ノ勞ヲ縛スルコト益大ナレハ、則其强迫ヲ支フヘキノ時限愈短縮セサルヘカラス、思フニ幼稚ニ在リテハ、其諸課二十分ノ長サヲ以テ足リ、其少シク長スル者ニ在リテハ、三十分ヨリ、四十五分マテノ長サヲ以テ足レリトスヘシ、(丁)讀書及ヒ算術ハ兒生一般ノ進步ト教訓ト

ニ關シテ最大緊切ノ學科タレハ學校各部ニ於イテ、同時ニ之ヲ授クヘキ者ニ非ス、如何トナレハ苟此二科ノ課ニシテ、同一ノ時間ニ其授業ヲ施ス時ハ教師ヲシテ、健牢一般ノ進歩ニ要スルカ如キ注意ヲ其學校若クハ學科ノ短所ニ配與スルコト能ハサラシムレハナリ、(戊)讀書若兒ニ課程ノ一タルニ際セハ、他ノ諸級ニ於イテハ、書取習字算術ノ應用等ノ如キ沈靜ナル課業ニ就カサル可カラス、蓋沈靜ハ清聽ヲ培養スルニ必要ナレハナリ、(己)學校及ヒ教室ノ圖面ハ、恒ニ教師室ニ掲載スヘシ、蓋各級ノ諸學科ヲ恰好ニ整頓スルコトヲ補助シテ、必竟運行ノ靜穩ト自由トヲ擁護スレハナリ、(庚)何人(授業生生徒教員助教師若クハ教師)ニ學科ノ教授ヲ委任スル乎ヲ表明セサル可カラス、蓋教師ノ教授タル、時機情勢等ニ應シテ變更スルコトアルヘキヲ以テ、盡クこヲ表記スルコト克ノスト雖然レモ必ヤ其日々諸級ト親シク相觸接スルコトヲ得ヘキ者ヲ以テセサル可カラサルナリ、

第四　地方職業上ノ情況

地方職業上ノ情況ノ直接ニ時間表ニ影響スルヤ、其壇域甚狹シ、若苟兒童ノ勞力ヲ需要スルコトヲシテ、就學期限内ニ其退校ヲ促スカ如ク大甚シカラサラシメハ、一學校ノ課程タル、概他ノ學校ノ課程ニ異ナ

ラサルコトヲ得ヘキモノトス、抑小學校ノ冀圖タル、普通ノ教育ヲ授ケ兒童ヲシテ何等ノ職業ニモ適ヤシムルニ在ルカ故ニ、其緊切學科(即脩身讀書習字及ヒ算術)ノ如キハ前述ノ情況ニ因リテ左右セラルヘキ者ニ非ス、然シテ其補助學科(即前四學科ヲ除キテ其他ノ學科)ニ至リテハ、左ノ如ク變換スルコトヲ得ヘシ、第一商業ノ都市ニ於イテハ、或ハ算術ノ特別ナル應用ニ注意ヲ與ヘ、或ハ地理ノ某ノ部分ニ專其力ヲ用ヒ、或ハ其商賣上主要ナル物品ノ性質及ヒ効用ヲ口授スル等ヲ便宜トスヘシ、第二工業地方ニ在リテハ、其地ニ産スル物品ニ關シテ口授シ、以テ其製造ノ方法ヲ解キ、又工家ノ經濟ヲ授クル等ヲ可トスヘシ、第三農業地方ニ在リテハ、時機ニ應シテ、其地好培養ノ諸菜物等及ヒ其栽培法ヲ解說スルコトヲ得ヘキモノトス、第四採礦地方ニ在リテハ、其地ノ金石ノ性質及ヒ効用、其採礦及ヒ冶金ノ施方并ヒニ其礦夫ノ生活上健康及ヒ安全ヲ循律スヘキ諸法則ニ就キテ教授スヘキモノトス、故ニ之ヲ要スルニ、地方職業上ノ情況ニ於イテハ、口授ノ脚色如何ヲ以テ、充分ニ之ニ應スルコトヲ得ヘシト謂ヒテ可ナリ、

第五章　學校學校器具及ヒ器械

第一　學校ノ敷地

學校ノ位置ハ教師ノ往々管スル能ハサル所ナレ𪜈、總ヘテ地方ニ在リテハ、人口衆多ノ者ノ最容易ニ達シ得ヘキ處ヲ撰ミテ、之ヲ數地ト爲サンコトヲ要ス、而シテ此一情狀タル、其位置ヲ決定スルモノヽ如シト雖、尚未以テ足レリト爲サヽルナリ、然ルニ方今許多ノ場合ニ於イテ之ヲ察スルニ偏ニ此一情狀ヲ墨守スル者往々ニシテ之アリ、甚シキニ至リテハ、地ノ價直無キニ據リテ之ヲ定ムルモノアリ、譬ヘハ今某ノ地主ノ地ニ學校ヲ建築センコトヲ商議スルニ方リテ、彼ノ地主其所有ノ土地ヲ通覽シ、到底其殖産ニ適セサル者ヲ以テ、仁惠ヲ施ス爲シ學校地所トシテ之ヲ寄附スルコトアリ、是豈正道ナラン哉、是豈學校建築ノ數地ナラン哉、抑吾人ノ本性タル造々化々ノ美ヲ愛シ、美術ノ巧ヲ嗜ムノ情操ニ富メルヲ以テ、苟其學校風光目ヲ悅ハシメ、趣致心ヲ樂マシムルノ地ニ在リナハ、吾人ノ心意ハ、冥々裏ニ其風致ヲ吸收シ得テ萬有ノ美趣ヲ忖度スルニ至ランコト必セリ、蓋絶勝殊跡ノ心意ニ感應スル所以ノ功德ハ固ヨリ其蘊奥ヲ極ムルニ難シト雖、詩人ノ景色ニ對シテ以テ絶調ヲ詠シ、畫工ノ風致ニ接シテ以テ絶筆ヲ寫スカ如キハ皆心意ノ景光風致ニ感觸スルノ實蹟ニシテ、之ヲ時ノ古今ニ鑑シ、洋ノ東西ニ徵スルニ、其例枚擧

ニ遑アラス、故ニ學校ノ位置ハ、務メテ人口衆多ノ達レ易キ處ニシテ、成ルヘク風光ノ美ヲ抱擁スル者ヲ撰定スヘシ、然レテ又非常ノ濕氣若クハ熱氣アルノ地ヲ遠ク避ケテ、乾燥ノ地ニ就クヘシ、若斯ノ如キ地ヲ得ルコト能ハサル時ハ、衛生上ノ要況ヲ深ク注意シテ、塵埃惡水ノ掃除ヲ良クセンコトヲ務ムヘシ、然レ𪜈泥沼濁溜ノ近方ハ之ヲ避ケサル可カラス、然ラサレハ、健康ニ巨害アルコト必セリ、又都市ニ在リテハ、宜シク喧闐囂雜ナル道路ヲ距リ、殊ニ熱病等起リ易キ市街ニ遠サカルヘシ、

第二　學校ノ大小及ヒ形狀

學校ノ大小ハ、固ヨリ教フヘキ兒童ノ員數ニ應シテ之ヲ定ムヘシト雖宜シク左ノ要況ニ基キテ教室ヲ工作スヘシ、(甲)群雜ヲ避ケテ自在ニ就キ、各級ノ分界ヲシテ完全ナラシムヘシ、蓋一般ニ之ヲ述フレハ、兒童一人毎ニ、八方尺ノ面積ヲ以テシテ足レリトスヘシ、故ニ百人ヲ容ルヘキ學校ハ、八百方尺ヲ要スルノ比例ナリ、而シテ實際何レノ學校ニ於イテモ、數名ノ闕席者アルモノナレハ、此計算ヨリハ、多少ノ餘裕ヲ兒童ニ與フルコトヲ得ルモノトス、(乙)教師及ヒ其他ノ者ヲシテ、諸級ヲ妨害スルコト無クシテ、運行スルノ便易ヲ得セシメンコト切要ナリ、然ラサレハ、其能

ク靜謐ヲ保タンコト蓋又稀ナリ、(丙)椅子卓子等ノ整頓ヲシテ、何レノ方位ヨリスルモ滿場皆監督下ニ在ルカ如クナラシメンコトニ注意スヘシ、(丁)必充分ナル立方積ヲ有シ、各兒ニ與フルニ、少クトモ八十立方尺ヲ以テセサル可カラス故ニ天井ハ益高キヲ可トシ、一丈三四尺ヲ以テ最低キ者トスヘシ、(戊)又學校ノ形狀ハ實地ニ就キテ之ヲ驗スルニ、長方形ヲ以テ最良トス、而シテ其長サ槪幅ニ倍スル者ヲ最便トス、

○完全具備ノ學校ハ何等ノ場所ヲ有ツヘキヤ、

完全ニ具備セル學校ヲ舉クレハ、左ノ諸部ヲ有ス可キモノトス、曰ハク、教室及ヒ其採光通風及ヒ採溫、曰ハク、廊下及ヒ控所、曰ハク、教師住屋若クハ教師室、曰ハク、體操場、曰ハク、圃是ナリ、而シテ此諸部ノ建築ト其連絡トノ便宜ナルニ從ヒテ、益其學校ノ便益ヲ來スモノナリ、吾カ輩ハ前ニ既ニ學校ノ位置大小形狀及ヒ教室ニ關シテ、略其主要ノ情況ヲ記述シタレハ、今爰ニ其未論セサルノ條項ニ說キ及サントス、

○廊下及ヒ控所

廊下及ヒ控所ハ學校ニ屬スル修飾ト見做ス可カラスシテ、卻ツテ其要處ト認ムヘキモノナリ、蓋男女混合ノ大ナル學校ニ在リテハ、各二箇ヲ有セサル可カ

ラス、而シテ斯ニ裝置スルニ適當ノ諸具ヲ以テシ、又光線ノ通過ヲ良クシ、兒童ヲシテ、其携ヘ來レル物品（即帽傘等ノ如キ者）ヲ安全ニ斯ニ措キテ、然ル後各其業ニ向ハシメサル可カラス、又廊下ハ、生徒ヲシテ、上校退校并ヒニ每時更迭等ノ時ニ際シテ、紛雜喧闐ノ憂ヲ避ケ、靜々肅々トシテ運行セシムルニ適スルノ便且要アリ、然レ𪜈適當ニ此等ノ場所ヲ使用センニハ、嚴ニ其監督ヲ要スルコト、固ヨリ論ヲ俟タサルナリ、

○教師住屋又ハ教師室

學校ニ鄰接シテ、恰好ナル教師ノ住屋ヲ建設センコトハ、完全具備セル學校ノ一要所タリトス、而シテ其大小形狀等ノ如キハ、固ヨリ諸般ノ事情ニ應シテ裁定スヘシト雖、必ヤ虛飾ヲ棄テ、單弱ヲ避ケテ、清潔堅牢ニ就キ、且便宜ヲ旨トスヘキ者ナリ、然リ而シテ其要如何ノ如キハ、許多アリト雖、其主要ノ者一二ヲ茲ニ舉クレハ、教師者時間ノ浪費ヲ避クルコトヲ得テ、有用ノ業ニ其注意ヲ傾向スルノ機會ヲ收メ、又自學校事業ニ感趣ヲ抱クノ念ヲ增長セン、而シテ監督ノ機モ亦多々ナルコトヲ得テ、學校ノ教化從ヒテ上進セン、是ヲ以テ英國ノ小學校ニ於イテ此設アルコトハ、比々トシテ各處ニ見ル所ニシテ、大抵教員招聘ノ

際ニハ、其給料ノ外ニ、住屋附屬ノ件ヲ明言スルモノトス、然レ𪜈教師ノ住屋若學校家屋ニ鄰接セサル時ハ、大ナル學校ニ於イテハ、教師ノ用ニ供スルニ特別ノ一小室ヲ以テセサル可カラス、蓋教師ニ在リテハ、事務上其他諸般ノ効用アレハナリ、而シテ圖書博物等ノ室アレハ、之ト相合ハセテ可ナリトス、

○學校ノ採光通風及ヒ採温

凡教師及ヒ生徒トモ、其注意力ノ情勢如何ハ、多ク學校衛生上ノ景況如何ニ基因スルモノナレハ、其要太甚大ナリトス、吾カ輩ハ乃左ニ其採光通風及ヒ採温ノ三大項ヲ略述セン、

第一採光學校採光ノ準備タル、二様ノ目途ニ因ラサル可カラス、曰ハク、光線ノ多寡其適度ヲ得ルトリ、曰ハク、配分其適宜ヲ得ルトリ、既ニ體育ノ章ニ於イテ解説セタルカ如ク、光線過不及ノ效驗ハ、孰レモ人目ヲ縛束シテ、精神ノ緩慢ヲ生ス、殊ニ午下ニ於イテ甚シトス、又其配分ニ關シテハ學校ノ諸部盡ク皆之ヲ享ケサル可カラス、而シテ右ノ某途ヲ稍容易ニ達センニハ、許多ノ小窓ヲ諸所ニ布設センヨリハ、寧恰好ノ牖戸二三ヲ適宜ノ場所ニ設置スルヲ以テ便宜ナリトス、茲ニ今學校採光ノ諸良法ヲ舉ケン、甲蓋採光ノ最良法タル、屋上ヨリ光線ヲ通スルニ在ルヘシ、

然スル時ハ、其光平ニシテ等シキコトヲ得、且陰影ナシ、(乙)又牖戶ヲ教室ノ兩鄰偏ニ開設スルモ可ナリ、然スル時ハ、兒童ノ左方ヨリ光線ヲ容ルヽコトヲ得ヘシ、若又牖戶ヲ級ノ前面ニ開ク時ハ、其必ヤシク相距ランコトヲ要ス、蓋牖戶ハ何レノ場合ニ於イテモ、必壅壁ノ高處ニ設ケ、之ヲ開クニ方リテ、兒童ヲ其風路ニ露出セサランコトニ適セサル可カラス、尚光線ノ管理ニ關シテ二箇ノ緊要ナル題目アリ、(甲)各牖ニ懸クルニ截簾ヲ以テスヘキ事則其一ナリ、蓋光線ノ勢力ヲ殺減スルコトヲ要スルノ時アリ、殊ニ大陽ノ直接光線ヲ避ケンカ爲ナリ、(乙)室內壅壁ノ色ハ、鈍ニ過ク可カラス、其多ク光線ヲ吸收スルノ憂アレハナリ、又鋭ニ過ク可カラス、其反射ニ據リテ人目ヲ眩暈スルノ恐アレハナリ、故ニ宜シク恰好ノ色ヲ撰ミテ之カ塗飾ヲ施スヘシ、是又一ノ題目ナリ、

第二通風

通風ノ必須ナルコトハ、吾カ輩前ニ既ニ體育ノ章ニ於イテ之ヲ辨明セリ、抑通風ノ學術ニ涉レル諸方法タル、既ニ世上ノ驗ムル所ト爲リタレ𪜈、一トシテ未嘗テ一般ニ其功ヲ奏スルモノアラサリキ、故ニ吾カ輩ハ、目下之ヲ自然ノ手段ニ訴ヘサルコトヲ得ス、蓋教室ハ、其天井ヲ高クシ、其牖戶ヲ壅壁ノ高處ニ設置シ、之ヲ開クモ兒童ヲ其風路ニ露出スルノ

憂ナク、而シテ純清ナル空氣ノ新代室内ニ普ク汚腐シタル空氣ノ陳謝室外ニ速ナランコトヲ要ス、然レトモ教師若此種ノ準備ナキニ會セハ、殊更ニ其通風ノ缺ヲ補フノ手段ヲ用ヒサルコトヲ得ス、則教師ハ、兒童カ教室ニ入ルノ前ニ、充分ニ空氣ヲ通シ、復休憩時間ニ於イテモ之ヲ數スル等是ナリ、

第三、採温寒冷ノ空氣ト、新鮮ノ空氣トノ別ハ、世人カ往々糢糊ノ了解ヲ抱ケル所タリ、蓋空氣ハ、新鮮ナラスシテ寒冷ナルコトヲ得ヘシ、而シテ新鮮ノ空氣ハ、必シモ寒冷ナルコトヲ要セス、夫然リ、故ニ學校ニ要スル所ノ者ハ、適應ノ温度ヲ得タル新鮮ノ空氣ニ在リト雖然レトモ温度ニ關シテ論題ノ發スルハ、唯冬期間ノミニ在ルコト、固ヨリ論ヲ俟タサルナリ、抑採温ノ學術ニ渉レル諸方法ノ既ニ世上ノ驗ムル所トナリタル事ハ、猶通風ニ於ケルカ如シ、而シテ其一トシテ未嘗テ一般ニ奏功ノ實蹟アラサルコトモ亦猶通風ニ於ケルカ如シ、故ニ目下ノ情勢ニ在リテハ、各地固ヨリ其適宜ノ方法ヲ撰ミテ採温ノ功德ヲ需ムヘシト雖、又必寒暖計ヲ備ヘテ其適度ヲ驗シ、以テ過不及ナカラシムヘシ、而シテ其理由ノ如キハ、既ニ體育ノ章ニ於イテ之ヲ述説シタレハ、今復爰ニ舉ケサルナリ、

○體操場及ヒ圃

凡何レノ學校ヲ問ハス、體操場ノ設置タル、必闕ク可カラサルノ事タリ、而シテ其功德ノ體育及ヒ德育ニ於ケル、太甚廣ク且大ナルコトハ、既ニ戶外運動ノ章ニ於イテ之ヲ證明シタレハ、宜シク彼ノ章ニ就キテ之ヲ參考スヘシ、抑體操場ハ、充分乾燥ノ地タルベシ、而シテ之ヲ覆フニ砂土ヲ以テスヘシ、蓋煉化石瓦甎若クハ塊石ヲ敷クハ、危險ノ恐アリ、青芝ヲ植ウレハ、雨露ヲ保持スルノ害アレハナリ、又其大小ハ、兒童ヲシテ自在ニ運動步走スルニ足ラシムヘク、且之ニ備フルニ適宜ノ器具ヲ以テシテ、體操法ヲ學ハシムル

コソ最望マシケレ、體操場ニ附屬シテ圃ヲ建設センコト必要ナリ、而シテ此場ノ物タル邊隅ニ在リテ便利良ク、且快潔ナランコトヲ要ス、故ニ教師ハ必屢之ヲ巡視シテ、以テ其要況ヲ保存センコトヲ務ムヘシ、然スル時ハ、唯ニ學校ノ快樂ヲ增スノミナラス、生徒ヲシテ聚作ヲ愼ミ清潔ヲ習ハシムルニ於イテ、又大ニ感化ノ効力アルナリ、然ルニ學校家屋ノ此部ハ、太甚等閑ニ附シテ顧ル無キコト、比々トシテ學校ニ見ル所タリ、其兒童ノ健康ニ害アルコト、固ヨリ言フヲ俟タスト雖、學務吏員及ヒ教師ニ於イテ、又豈之ヲ恥チサルコトヲ得ン哉、

第三　學校器具○椅子○卓子○講堂○器械函教員用卓子時計

學校器具トハ教員及ヒ生徒ノ便益ヲ辨スルニ用フル庶物ヲ擧ケテ皆之ヲ含蓄スルノ義ニシテ其主要ノ物ヲ擧クレハ三アリ曰ハク椅子曰ハク卓子曰ハク講堂是ナリ而シテ其椅子ニ關シテハ充分ニ學校ノ需要ニ供スルコトヲ得ヘキ備アリテ且便宜ノ長サ幅高サヲ有センコトヲ以テ其目的トスヘシ蓋其長サハ學校ノ工事如何ニ應シテ固ヨリ相齊シカラサルヘシト雖其高サニ至リテハ必相異ナリテ以テ生徒各異ノ年齡ニ適應センコトヲ要ス又其構造タル或ハ只座ノミヲ有シ或ハ座下ニ棚ヲ設ケテ書籍及ヒ其他ノ物品ヲ容ルヽノ便ニ應スルコトヲ得ベシト雖決シテ背後ニ支ナキ者ヲ製ス可カラス卓子ハ平行列ニ設置シ次ヲ追ヒテ後部ニ騰上センコトヲ要ス而シテ卓子ノ互ニ相距ルコト必通行ニ便シ其床ヲ離ルヽト座上ニ出ツルトノ高サモ亦必兒童ノ年齡ニ適合スヘシ蓋一尺四五寸ヲ以テ各兒ニ配當スヘキ場所トシ其幅ハ一尺一寸ヲ恰好トス而シテ其高サハ前面ノ卓子ヲ二尺三寸五分トスル時ハ第二ハ二尺五寸六分ニシテ第三ハ二尺八寸等ノ比例ニ準據シテ變センコトヲ可トシ座ハ卓子ヲ距ル

コト凡一尺下リニシテ、其幅ハ凡五寸六分ヲ以テ足レリトス、又卓子ニ微少(即全體凡八分)ノ斜面アルハ固ヨリ可ナリト雖、苟之ヲ有スル時ハ筆硯鉛筆石筆等ヲ配置スルニ適ヘル準備ヲ闕ク可カラス、講堂トハ、許多ノ階若クハ座ヲ平行ニ配列シ順ヲ追ヒテ背後ニ次キ且上レル場所ヲ云フ、抑講堂ノ大小タル、固ヨリ兒童ノ員數ニ應シテ之ヲ循律スヘシト雖、大抵八九十人ヲ容ルヽヲ以テ其極度ト認ムヘシ、而シテ各兒ニ配當スヘキ空間ハ、一尺一寸ヨリ一尺四五寸マテヲ可トシ、兩側ニ一尺四五寸ノ通路ノ設ケンコトヲ要ス故ニ六階ヲ有スル講堂ニ在リテハ前面ヨリ後壁ニ至ルノ距離ヲ一間五尺四寸トシ、其床ヲ第一脚架ニ用ヒテ、五脚架其幅各一尺三寸二分ノ者ヲ要シ、又七寸二分ヲ着座ニ要スレハ、脚架ト着座トヲ合ハセテ二尺四分ノ幅ヲ得、第六階ノ座ハ一尺ヲ以テ足レリトス、而シテ全體ノ高サハ、各階毎ニ凡一尺ヲ以テ騰上スルノ比例ニ準據スヘシ、尚前述ノ外ニ、學校ニ屬スヘキ所ノ器具ヲ擧クレハ、器械函教員用卓子及ヒ時計ナリ、蓋函ハ、書籍地圖掛圖地球儀石盤等物品ノ性質ニ應シテ之ヲ製スヘシト雖、必快潔乾燥ニ之ヲ保存シ、且鍵ト鎖トヲ備ヘンコトヲ要ス、又教員用卓子ノ製ハ固ヨリ教師ノ嗜好ニ屬スヘシト

雖、單弱虛飾ヲ去リテ、專堅固便宜ヲ旨トシ、圖書表簿筆硯紙等ヲ安全ニ收置スルニ適センコトヲ要ス、蓋教員ハ其授業ノ際、概椅子卓子ヲ用フルニ及ハサルヘシト雖、一層高等ノ級ヲ教授スルニ當リテハ、簡單ナル書架ヲ有センコト便宜ナルヘシ、又時計ハ、叨ニ巨資ヲ捐テヽ華美ノ者ヲ求ムルコトアレヒ、是甚望マシカラス、只當ニ堅固ニシテ、依賴シ得ヘキ者ヲ備フヘキナリ」、尚此條ヲ終ルニ臨ミテ、一言ノ以テ教員ニ箴告スヘキ所アリ、凡教師タル者ハ、恒ニ其學校及ヒ附屬ノ品物ヲ快潔ノ狀ニ保存シ、且丁寧ニ之ヲ使用センコトニ深ク注意シ、以テ之カ手段ヲ施サヽル

可カラス、此事タル、唯ニ學校ノ快樂ヲ增進スルノ高價アルノミナラス、兒童ノ德性ヲ感化スルニ於イテ、其功德蓋又較々著明ナリ、夫模範ノ功ハ大ナリ、故ニ教師苟能ク細大ノ事物ヲ網羅シテ斯ニ注意シ、以テ之ヲ循律セハ、兒童豈夫之ヲ學ハサルコトヲ得ン哉、

第四　學校器械○小圖書室

學校器械トハ課程ヲ教授シ、且之ヲ解明スルニ必要ナル物品ヲ含蓄スルノ義ナリ、而シテ之ヲ備フルニ方リテハ、決シテ吝惜ナル可カラス、凡何レノ學校ヲ問ハス、黑板ノ備ハ極メテ闕ク可カラサルノ事タリ、而シテ其効用ノ如キハ夥多ナリト雖、固ヨリ入ノ能

ク知ル所ナレハ、茲ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス、實物ノ計方ニ用フヘキ器械ハ、幼稚ニ首トシテ授クル所ノ算術課ニ必切ナルヲ以テ、必之カ備ヲ闕ク可カラス、我カ東京教育博物館ハ、此種ノ標本數品ヲ有スレハ宜シク其適宜ノ標本ニ就キテ一二ヲ製シ、以テ其必切ノ用ニ充ツヘシ、地圖及ヒ海圖ノ類ハ、充分ノ備アリテ地理授業ノ用ニ供セサル可カラス、又各學校トモ、一二ノ地球儀及ヒ高低圖ヲ有センコトコソ大ニ望マシケレ、而シテ其効用ノ如キハ、授業法ノ部ニ至リテ之ヲ解釋セン、又讀書課解說口授課及ヒ其他ノ用ニ供センカ爲ニ、教訓畫掛圖博物圖物理示教圖等ヲ備ヘ學術課用ノ爲ニ簡單ナル物理及ヒ化學器械ヲ有センコトヲ要ス、又同用ノ爲ニ、諸實物模型製造品及ヒ動植礦物ノ標本ヲ得テ、小博物館ヲ模造センコト大ニ望マシケレ、而シテ之カ目的ヲ遂クルニ當リテハ、必シモ敢テ許多ノ資ヲ捐テンコトヲ要セサルナリ、蓋一タヒ此等物品採集ノ業ヲ肇ムルトキハ、其聚來スルコト甚速ナルヘシ、故ニ教師若首トシテ其例ヲ示シテ、之ヲ採集スル時ハ、生徒等盡ク斯ニ感趣ヲ興シテ、同シク其擧ニ就カンコトヲ競ヒ、數年ヲ出テサルニ、唯近方ノ諸物ヲ集メ得ル而已ナラス、終ニハ其既ニ學校ヲ去リタル兒童ヨリ、遠方ノ珍品

奇物等ヲ寄セ來リテ、恰好ノ博物館ヲ得ルニ至ラン思フニ此業ヲ遂クルノ最良途ハ、教師豫メ動物植物採集并ニ裝置用器腊葉用具等ヲ備ヘテ、自其効用ヲ研究シ、復之ヲ其兒童ニ傳ヘテ、師弟共ニ採集ノ機ヲ逓ラサルニ在リ、故ニ採礦地方ニ在リテハ、礦産ヲ主トシテ、傍其地ノ動植物ヲ採集シ、海邊ニ在リテハ、專海産ヲ採集シ、山村ニ在リテハ、專昆蟲植物ヲ採集スル等皆其地方ノ便宜ト時機トニ任セテ可ナリ、而シテ此業ノ直接及ヒ間接ノ功德ニ至リテハ、教師親シク經驗シテ、以テ其太甚大ナルコトヲ知ルヘキナリ、又其器具ノ如キハ、東京教育博物館ニ標本ノ在ル

アリテ、其價直モ亦尋常小學校ノ資力内ニ在レハ、苟他ノ手段ニ藉リテ能ク前述ノ目的ヲ遂クルコトヲ得ルニ非サルヨリハ、此種ノ器具ヲ備ヘンコトヲ吝ミテ、無上ノ功德ヲ眼前ニ失ヒ、以テ學校ノ面目ヲ毀損スルコト勿カレ、尚前述ノ外ニ一ノ學校ニ望ムヘキ者アリ、則小圖書室ノ設備是ナリ、蓋兒童ノ讀書ノ嗜好ヲ培養シ、且間接ニ其一般ノ智力ヲ訓育スルノ効用アレハナリ、然レモ斯ノ如キ效驗ヲ收得センニハ、教師タル者、兒童ノ識量ニ應スヘキ者ヲ撰ミテ之ヲ與ヘ、且其讀ム所ノ者ニ關シテ親感趣ヲ抱キ、以テ之ヲ勸奬セサル可カラス、又圖書室ノ設置ハ、特兒童

ヲ益スルノミニ止ラスシテ教師ニモ大ニ功德アリトス、如何トナレハ、教師ハ課程ノ有効ナランコトヲ冀期スルカ爲ニ、之カ充分ノ準備ヲ爲スニ當リテ、教科書外ノ圖書ヲ要スト雖、甚多カラサルノ給料ヲ捐テ、其購求ニ充テンコト、教師ノ能クシ難シトスル所ナリ、而シテ學校ノ資力ニ於イテハ、能ク之ニ堪フヘケレハナリ」今此條ヲ終ルニ臨ミテ、一二ノ箴言以テ教員及ヒ學務吏員等ニ告クヘキ所アリ、凡地圖畫圖ノ類ヲ撰ムニ方リ、其有趣有益ニシテ、成工ノ優良ナル者ヲ取ルヲ以テ其目途ト爲スヘシ、其成工醜拙ナル者ノ如キハ、卻ツテ其無キニ如カサルコト遠シ

ト謂フヘシ、如何トナレハ、兒童ノ嗜好ヲ培養スルコト無クシテ、卻ツテ之ヲ消滅若クハ毀損スルノ傾勢アレハナリ、然リ而シテ現今世上ニ刊行セル圖書掛圖中、有趣有益ニシテ、且其成工優良ナル者無キニ非ス、我カ文部省等近來刊行ノ者ノ如キハ則此種ニシテ、殊ニ其價モ亦各學校ノ資力ノ容易ニ達シ得ヘキ所ナレハ、苟當局者ニシテ此種ノ物品ヲ備ヘサル時ハ、吾カ輩ハ其辭ナキヲ恐ルヽナリ、又學務吏員等ニシテ、自己ノ臆說ヲ主張シ、慢ニ教員ノ冀望ヲ抑縛シテ、此等器械ノ購求ヲ拒絕スルカ如キハ、經濟ノ誤解者ト斷言スヘシ、然レ𪜈教師ハ假令前述ノ器械許多

ヲ闕ク所ノ學校ニ在リトモ、決シテ悵望落膽スヘキニ非ス、須ラク意ノ在ル所道之ニ從フノ言ヲ服膺シ、平素其心ヲ負荷ノ事業ニ熱注シテ、毫モ之ヲ忽諸ニセサレハ、早晩良途ヲ發見シテ、概其需要ニ應スルコトヲ得、竟ニ正鵠ニ達スルニ至ラン、世ノ善良老練ノ教師ハ、往々數層ノ盤根錯節ニ遭遇シ、一身以テ之ニ當リ、遂ニ全勝ヲ奏シテ、然ル後顯ルヽ者甚尠シト爲サヽルナリ、艱難ヲ貫キテ星宿ニ達ストハ其是ノ謂歟、

第六章　主簿及ヒ其利

レジストレーション譯シテ主簿ト云フ詞ハ、教育上用ヒ來レル意味ニ據レハ、生徒ノ入學、進歩及ヒ退學、其上校ノ性質階級ニ於ケル位置卽其功績ヲ表明スル所學校事業并ヒニ授業料等ヲ表載スルコトヲ徵ス、夫編制ハ、學校ノ切要機關ニシテ、其整否ハ則學校事業ノ盛衰ニ關スルコトハ、前ニ既ニ之ヲ詳述セリ、而シテ學校主簿ハ其機關ノ一大要部タレハ、之ヲ主リ之ヲ製スルノ方法如何ハ、則教育家ノ切ニ其意ヲ注ク所タリ、然ルニ我カ小學校ニ於イテハ、概一般ニ主簿ノ法ヲ闕キ、間々之ヲ有スルモ、甚不具ノ者ニシテ、之ヲ要スルニ僅ニ其名ヲ存スルニ過キサルカ爲ニ識者ノ嘆ヲ來セルコト焉ニ久シ、我カ文部省モ亦

同一ノ嘆ヲ抱キシニヤ茲ニ明治十四年四月ヲ以テ、表簿編製ノ一定法ヲ府縣ニ達シ、教員及ヒ學務委員等ヲシテ、之ニ倣ヒテ以テ永ク小學校ノ表簿ヲ主ラシムルニ及ヘリ、抑坤輿上現ニ强迫教育法ヲ布ケル諸國中、英國ノ如キ其最嚴ニ之ヲ施セル邦ニ於イテスラ、尚未一定ノ主簿法無キヲ以テ、小學校表簿ノ編製皆區々ニ出テ、良否錯雜爲ニ幾多ノ不便ヲ來シ、爲ニ識者ノ嘆ヲ招ケリ、然ルニ我カ邦一舉ニシテ一定ノ良法ヲ得タルハ、誠ニ教育上ノ一大美事ト謂フヘシ、夫完全ナル主簿法ノ利タル、唯教師ニ對シテ太甚大ナルノミナラス、廣ク社會ニ向ヒテ尚之ニ勝ル者アリ、蓋教師タル者尚之ヲ缺ク時ハ、暗夜ニ業ヲ就スカ如ク某ノ兒童カ幾許年間其學校ニ就學セルヤ、知ルコト能ハス、又假令其兒ノ始メテ上校セシ以來ノ年數ヲ殆ト推度シ得ヘシトスルモ、其間幾許ノ時期ヲ實際其學校ニ於イテ費セシヤヲ認ムスルコト難シ、然リ而シテ兒童ノ進歩ニ關シテ正當ノ意見ヲ有シ、且幾許年間其教授撫顧ヲ與ヘシヤヲ識ラシコト教師ニ在リテハ最大無上ノ要件タリ、而シテ之ヲ遂クルノ途ハ、主簿法ノ外又何ノ藉ル可キ者アラン哉、故ニ主簿ノ良法ハ、兒童入學ノ年月日ト、其始メテ業ニ就キシ時ノ眞ノ位置ト、并ヒニ各級ニ上進セシ

年月日及ヒ其就學セル實際ノ年間トヲ具シ教師ヲシテ甚仔細ニ兒童ノ進歩及ヒ其心意ノ啟發ヲ一目了認スルニ足ルヘキ圖面ヲ得セシムル者ナリ、加旃各異ノ兒童ノ成蹟ヲ比較シテ精細ニ之ヲ視査シ去レハ、教師ハ必其生徒一般カ平等ニ進歩セスシテ或ハ一科ニ速ニシテ他科ニ遲ナル等ノ事實ヲ發見セン、而シテ眞實篤厚ノ教師ハ、唯之ヲ發見スルノミニ止ラスシテ、斯ノ如キ差異ノ因リテ源ク所ヲ發見スルニ必孳々黽勉シテ、自問ヒ自答ヘ其源因ノ我ニ在リテ以テ然ラシメタルヤ、將タ彼ノ心上組織ノ然ラシメタルヤヲ觀考セン、若夫我ニ在リトセハ我ニ如何

ナル短所ノ在ルアリテ、終ニ其兒ノ進歩ヲ牽制シ以テ此極ニ至ラシメタルヤヲ省察悉明スヘシ則彼ノ兒ハ、其質恒退ニ過キテ事物ニ感シ易キ者ナル乎、我蓋之ヲ觀破スルコトヲ誤リ、其需要ニ適應くヘキ調理ヲ施サスシテ、其法或ハ劇ニ過キ以テ彼ノ兒ノ心意ヲ錯亂シタリシコトナシト爲サヽルナリ、若又其源因、彼ノ心上組織ノ差異ニ在リトセハ我ハ深ク其源因ヲ探討悉明シテ、其教授ノ之ニ應セシコトヲ勉ムヘシ、而シテ主簿ノ効用ハ尚未斯ニ止ラス、則教師ヲシテ傳染病ノ最發現シ易キ時季及ヒ地方ノ告知ヲ得セシムルノ益アリ、抑生徒出缺簿ノ學校ニ於ケ

ルハ、猶晴雨計ノ空氣ニ於ケルカ如シ、一ハ氣脈ノ輕重ニ關シテ、上降シ、一ハ兒童ノ健康如何(他ノ諸源因アルカ内ニモ)ニ從ヒテ上降スル者ナリ、今若闕席者ノ員數ヲシテ此時ハ彼時ヨリ多カラシメン乎、必其理由ナカル可カラス、而シテ其或ハ傳染病ノ流行ニ係ルモ又未知ル可カラサルナリ、是故ニ教師ハ、直チニ其豫防ノ方法ニ着手シ、病ヲシテ生徒ノ間ニ蔓延セサラシメ、且同時ニ彼ノ輩ノ間ニ人力ノ及フタケ、最健全ヲ保持センコトヲ目的トシ、以テ學校事物ノ整理ヲ良クセンコトヲ勉ムヘシ、又其闕席者タル、一地方ニ衆多ニシテ、他ノ地方ニ然ラサルコトヲ直チニ

發見スルコトアラン、果シテ然ル時ハ、是又其理由無カル可カラス、是ヲ以テ學校表簿ノ衞生局及ヒ其他ノ官衙ニ貴重ノ補助ヲ與フヘキコトモ亦太甚大ナリ、而シテ教師ニ在リテハ、唯ニ前述ノ利アルノミナラス、更ニ辭無キノ缺席ヲ防クノ効力アリ、又父母カ其兒童ノ進歩ニ遲緩ナルヲ認ムルニ、其上校ノ不循ニ因リテ教師ノ劬勞ヲ費シ、專此不幸ヲ致セシコトヲ以テセスシテ、慢ニ教師ニ其責ヲ負ハシムルニ當リ、則之ニ對スルノ口實タリ辨解タリ又防禦タルノ益アリ、尚主簿法ノ邦家ニ鴻益アルノコトヲ述ヘンニ、假リニ英國ヲシテ、全國一般ニ布ケル正整一定ノ學

校主簿法ヲ有セシメ、某ノ日某ノ時ニ、全國各小學校ヲシテ仔細ニ其上校セル兒童ノ員數ヲ開申セシムルトセンカ、乃其數ヲ以テ人口調査報告ノ數ニ比較シ、尚之ヲ出産死亡ノ報告簿ニ參照シテ其調査ヲ詳ニセハ、吾カ輩ハ、其國教育ノ普及ハ、幾許ノ點ニ達シタルヤ、又將來ニ於イテ施スヘキ要件如何ヲ直チニ辨知スルコトヲ得ン、加旃吾カ輩ハ、尚歩ヲ進メテ教育ノ方法最闕乏ナル其眞ノ地ヲ指スコトヲ得ン、而シテ又全國各種ノ地方ニ於ケル就學ノ平均年間ヲ識了シテ、以テ其就學ノ期ヲ短縮スル所ノ諸源因ヲ跡シ得テ、之カ救療ノ方略ヲ按スルニ便セン、然ルニ

彼ノ英國ノ如キハ、此種ノ一定便易ノ學校主簿法ナキヲ以テ、識者頻ニ前述ノ利ヲ收得スル能ハサルヲ慨嘆スルコト焉ニ久シ、然ルニ我カ邦ニ在リテハ、既ニ一定ノ表簿ノ準據スヘキ者ノ文部省ヨリ出テタルアルハ、則先鞭ノ功ヲ敢得セリト謂フヘシ、故ニ學務ヲ擔フノ人ハ、宜シク主簿ノ功要ヲ銘肝シテ、以テ快潔精細ニ其要件ヲ登記シ、表簿ヲシテ永ク學校ノ寶ニ充ツルニ足ラシムヘキナリ、

小學教育新篇第三卷終